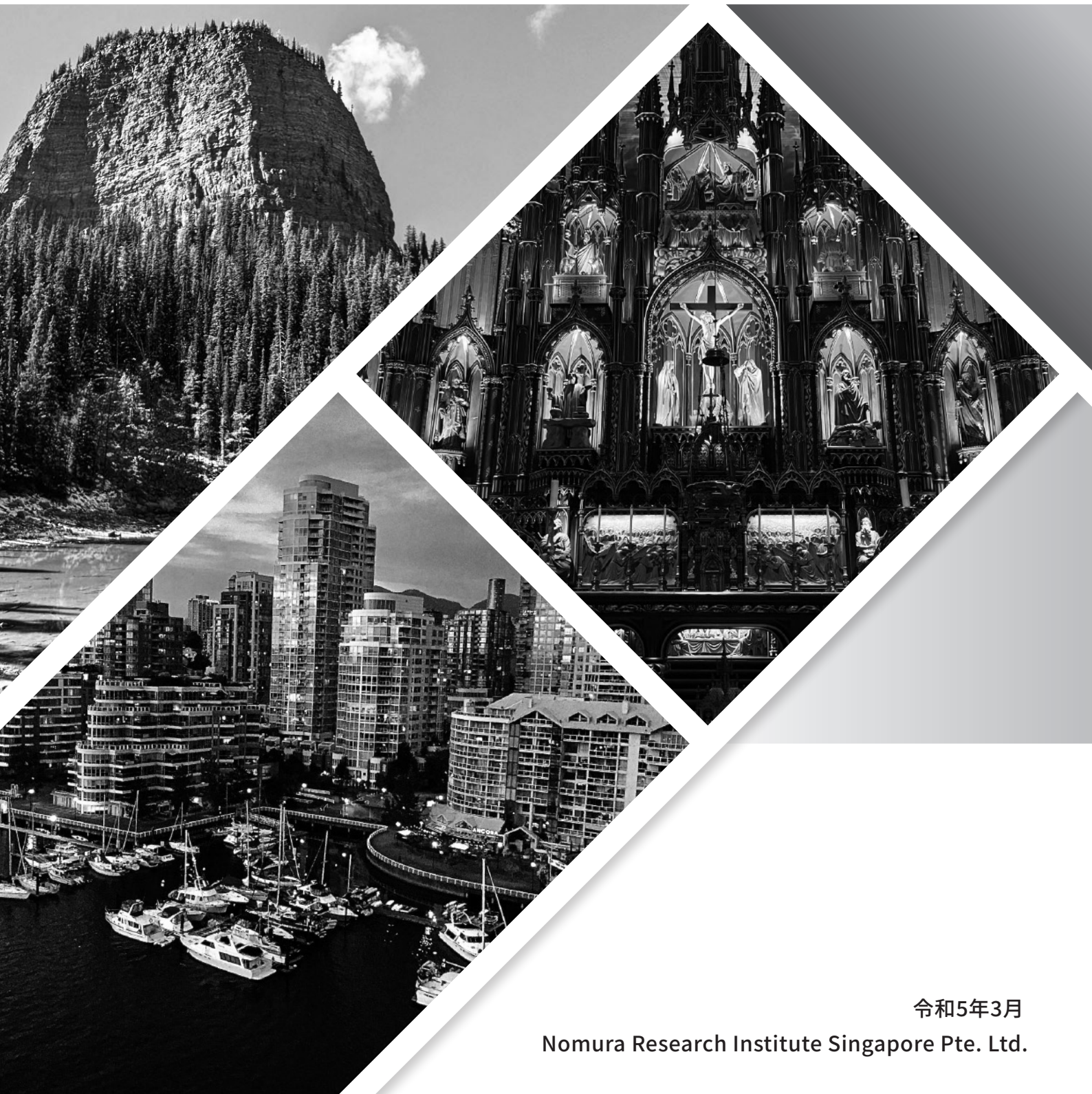




カナダにおける文化芸術活動に対する 助成システム等に関する実態調査

報告書 別冊



令和5年3月

Nomura Research Institute Singapore Pte. Ltd.

独立行政法人 日本芸術文化振興会 委託事業
カナダにおける文化芸術活動に対する
助成システム等に関する実態調査

報告書 別冊

関連文献(日本語訳)
目次

■別-1 カナダアーツカウンシル P.4

2021年-26年戦略計画 アート、かつてないほどに
Art, now more than ever 2021-26 Strategic Plan

〈原文献〉

<https://canadacouncil.ca/-/media/Files/CCA/Commitments/StrategicPlan/StrategicPlan2021.pdf>

■別-2 カナダアーツカウンシル P.8

2021-22年年次報告書
Annual Report 2021-22

〈原文献〉

<https://canadacouncil.ca/-/media/Files/CCA/Corporate/Annual-Reports/en/2021-22-Annual-Report.pdf>

※日本語訳中、グレーに着色されている **p1**、**p2**、**p3** 等は、原文献の頁を表しています。

※脚注も原文に従い記載しています。

- 日本語訳の公開は、本調査の報告書としての公開を目的として、一定の条件で発行者から承諾を得ております。
- 原文献に用いられているコンテンツの内、著作権が第三者に帰属する写真・ロゴ・イラスト等は使用しておりません。
- 引用等の際には、著作権者である発行者にも必ずお問い合わせください。

令和5年3月 Nomura Research Institute Singapore Pte. Ltd.

表紙

カナダアーツカウンシル
アート、かつてないほどに
2021-26年戦略計画

P2

(余白)

P3

目次

ミッション
置かれしこの土地および先住民への感謝
アート かつてないほどに
よりインクルーシブで公平、かつ持続可能な基盤の上に
芸術セクターを再構築
CCAの果たす役割とは？
2021-26年戦略計画の目的
2021-26年の方向性
再構築とイノベーションに投資
芸術が社会にもたらす恩恵を拡大
コラボレーションとパートナーシップの育成と拡大
モニタリングおよび報告
今後の道筋

P4

(余白)

P5

ミッション

カナダアーツカウンシル(Canada Council for the Arts、以降CCA)は、創造的で多様な芸術・文学領域の活性化に貢献し、カナダ全土および世界各地においてその支援を行っています。CCAは、カナダの公的な芸術助成団体であり、「芸術の研究および享受、ならびに芸術作品の制作を育成・促進する」ことをミッションとしています。

CCAの助成金、サービス、イニシアチブ、褒賞、支払いは、カナダのアーティスト、作家、芸術グループ、団体を支援しています。これにより、芸術表現の追求、芸術作品の制作、芸術ならびに文学の振興と普及を実現しています。

芸術への助成、コミュニケーション、リサーチ、プロモーション活動を通じて、CCAはカナダ人および世界中の芸術愛好家への関わりをさらに深化させています。

CCAの公貸権(PLR)プログラムは、カナダの公共図書館に作品が所蔵されているクリエイターに対して毎年報酬を支払うプログラムです。

カナダアーツカウンシルアートバンクは、美術品のレンタルプログラムを運営しており、展示やアウトリーチ活動を通じて、一般の人々と現代美術との関わりを深める活動も行っています。

また、平和、和解、公平、持続可能な開発の未来に貢献するため、ユネスコの価値観とプログラムを推進するカナダユネスコ委員会(Canadian Commission for UNESCO、以降CCUNESCO)としての責任も担っています。

P6

【写真キャプション】

アルゴンキン族のカヌー(The Algonquin Canoe)、2012年 ダニエル(ピノック)スミス(Daniel (Pinock) Smith)。白樺樹皮のカヌー、杉のリップ材、杉のパドル。カナダカウンシルアートバンク(Canada Council Art Bank)所蔵。
写真:クリスチャン・ラロンド(Christian Lalonde)

P7

置かれしこの土地および先住民への感謝

CCAは、当カウンシルが所在するこの地が、太古の昔からここに居住していたアニシナベ・アルゴンキン族の未占領、未譲渡の領土であること、また、アルゴンキン族がオタワ川流域とその支流の伝統的な守護者および擁護者であることを認識しています。この美しい領土にさまざまな国の人々を受け入れてきた彼らの長い歴史に敬意を表し、この母なる国の声と価値観を支持し高めたいと思います。

さらにCCAは、この土地に住むすべての先住民の固有の権利と条約による権利を尊重し、それを認識しています。これまで先住民国家およびその先住民族に対して行ってきた民族自決と主権に関する公約を尊重し、今後もそれを継続していきます。

私たちが現在カナダとして認識している土地、文化、先住民族に対する歴史的な抑圧を認識しています。また、芸術とは私たち全員が共有する癒しと脱植民地化の道程に貢献するものであると強く信じています。

この置かれしこの土地に関する感謝はアルゴンキン族のコミュニティメンバーによって作成されたもので、同コミュニティの寛大さと協力に感謝いたします。

P8

アート かつてないほどに

P9

アート かつてないほどに

本戦略計画は、世界中の何億人もの人々の生活に恒久的な変化をもたらすことになったパンデミック下で執筆されたものです。ここカナダでも、新型コロナウイルスは何千もの家族に深刻な影響を与え、大切な人々を奪い去りました。パンデミック時に実施された保健対策によって多くの人が職を失い、企業が倒産しました。また、多くの人々の心身の健康へ悪影響を及ぼし、差別や排除といった以前から存在していた不公平を悪化させました。ワクチン接種のキャンペーンは、人々の生活がもうすぐ正常に戻るだろうという希望を与えていますが、私たちは社会がパンデミックによって良くも悪くも変わってしまったことも知っています。

芸術は希望に満ちた場所から生まれ、危機の時ですえも関係を構築、修復するものです。言葉、音楽、空間、動き、映像など、あらゆる芸術的創造は、私たちが誰であるのか、そして私たちが生きる世界について考えるきっかけを与えてくれます。芸術は私たちが楽しませ、癒し、一つにします。芸術は私たちの帰属意識を高め、より広い世界や、出自や育ち、志といった自分が所属するコミュニティとのつながりを強めてくれるのです。芸術の力は、すべてが崩壊したときにも存続します。芸術は人生にとって必要不可欠なものなのです。

芸術や文化は、(他の分野と同様に多くの活動は停止せざるを得ませんでした)パンデミックの間でも、人々の日常生活において重要な役割を果たしてきました。オーディエンスは芸術との関わりを保ってはいますが、多くのアーティストや文化人が技術を磨く機会を失ってしまいました。ですがこのような状況は、いつまでも続くものではありません。どんなにひどい嵐が吹き荒れたとしても、いつか空は晴れるものです。私たちは、アーティストが新しい世界をイメージすることを、これまで以上に必要としています。

そのために必要なのは、支援、評価され、レジリエンスがあり、インクルーシブで、アクセスしやすく、公平で、持続可能な芸術セクターであると考えています。アーティストが何の制約も受けずに、その芸術的、文学的経験を自由に創造、共有することができる、アーティストをより大切に、適切な報酬を与えることができるセクターを必要としています。

P10

よりインクルーシブで公平、かつ持続可能な基盤の上に芸術セクターを再構築

長い危機が私たちの社会にかけがえのない芸術セクターを揺さぶってきましたが、今こそが再構築の時です。

再構築には、公共と民間からの多額の投資、新しいオーディエンスの取り込みと同時にパンデミック以前のオーディエンスの強力な回復、そして芸術と文化へのアクセスを加速する前例のない強力なキャンペーンが必要となります。新しいオーディエンスを惹きつけ、維持するためには、カナダに住む人々が、自身が文化セクターのマンパワーとその作品に反映されていると感ずることができるようであればなりません。

パンデミックは、私たちの社会、社会制度、活動分野に多分に存在する公平性の欠如に鋭く光を当てました。その結果、社会がより広い協力のもと、医療、サプライチェーン、教育をすべての人々の利益となるよう改善しようと取り組んでいます。

芸術セクターの欠点、矛盾、不公平の多くも、2020年の春以降より鮮明に浮かび上がってきました。私たちは現在、芸術分野、特に莫大な公的資金を提供する組織の人材とプログラムにおいて、公平性、多様性、包摂性の継続的な欠如につながる体系的な障壁についての認識を高めています。このような障壁のために、十分な支援を得られない疎外されたグループに属するアーティストの参加や成長が制限されています。これには、先住民、黒人、被入種差別者、ろう者、障害者、2SLGBTQ、ジェンダー多様性のコミュニティのアーティスト、女性、そしてこれらのアイデンティティのはざまにいるアーティストが含まれます。現代における公平性と包摂性の欠如は、新しいオーディエンスの参加を妨げ、多様化する社会において組織の繁栄を阻むものとなっています。より公平で多様、かつ包括的になることで、芸術セクターは、豊かな芸術的、文学的創造性を生み出し、より多くのオーディエンスと芸術を共有することができるようになります。

P11

別の現実問題も芸術セクターの弱点になっています。芸術は、協力よりも競争、資源共有よりも分断、持続可能な開発よりも成長、といった姿勢に立ち向かっていくものです。これを達成するために、芸術セクターは革新的でなければなりません。

芸術セクターの事業モデルのいくつかは限界に達しており、新しい可能性を生み出すためには革新的なモデルが必要とされています。そのためには創造性が必要ですが、創造性だけでは不十分です。イノベーションには、プロセスと結果の両方が求められます。芸術だけでなく、同様の課題に取り組んできた他のセクターの知識や経験を活用することが成功につながります。当アーツカウンシルは、イノベーションこそが芸術の持続可能な発展の鍵になると考えています。

芸術のための脱植民地化された未来

真実を語り、和解し、脱植民地化するという精神のもと、CCAは、植民地時代の制度における抑圧、排除、先住民に対する人種差別の歴史を認識し、それに対処することを目的としています。より公正で公平、かつ脱植民地化された芸術の未来に向けて共に歩むために、敬意と責任をもって行動し、協力することを約束します。

P12

CCAの果たす役割とは？

当アーツカウンシルは、今後も様々な形で芸術の創造と共有に関わっていきます。また、芸術を擁護し、その民主化を促進するために、あらゆる規模や構造を持つ団体の芸術の創造と共有のための努力を引き続き支援していきます。当アーツカウンシルは、高い芸術的価値を生み出すアーティストに対する助成プログラムを通じて、上記を達成します。また、ターゲットを絞った戦略的資金、特別なイニシアチブ、パートナーシップを通じて実践していきたいと思えます。

2021-26年の戦略計画は最終的に、カナダのすべての人々がアクセスできる、持続可能で、レジリエンスを持つ、公平な芸術セクター、つまり、誰もが自分を認め、歓迎されていると感ずることのできるセクターの創生を奨励するものです。そのためには変化が必要ですが、変化は強制すべきものではありません。そのため、当アーツカウンシルは芸術セクターと協力し、パートナーと連携して変革に必要なツールを開発していきます。また、明確で透明性のあるインセンティブや資金調達メカニズムを導入し、変化を実現するための投資を行うとともに、その結果を毎年報告します。

当アーツカウンシルは、公債権プログラムの更新と強化に対して、今後も揺るぎないサポートを提供します。このプログラムは、約18,000人の作家、ライター、翻訳者、イラストレーター、ナレーター、写真家に対し、カナダの公共図書館で彼らの作品を無料で利用するための謝礼として毎年支払いを行うものです。

また、カナダ最大の芸術賞、文学賞の運営も継続し、私たちの集団的想像力を形作っているあらゆるクリエイターの功績を称えています。

さらに、アートバンク(Art Bank)の運営を革新し、一般の人々がよりアートを身近に感じられるように、公共の場や職場でアート作品に触れることのできる機会を確保していきます。

P13

さらに、CCUNESCO事務局が代表する多くの政府機関や市民社会ネットワークとの協力の精神に基づき、同委員会を支援するという重要な責任も引き続き担っていきます。平和、和解、公平性、持続可能な開発を支援するためにも、CCUNESCOのイニシアチブとの相互補完や相乗効果を最大限に高めていきます。

最後に、カナダの芸術セクターにおける公正で公平、安定的かつ予測可能な資金調達のために、カナダ文化遺産大臣を通じて、連邦政府に分析と勧告を提供し続けます。また、少数民族の権利を擁護する組織と密接に協力し、少数民族の公用語コミュニティの芸術的・文化的発展を支援する責任を十分に果たしていきます。また、アーティストの労働条件や報酬、文化的背景や地域、社会経済的状况を問わず、すべてのカナダ人の芸術文化へのアクセスを改善するための定量的・定性的調査や政策、施策、取り組み、アプローチの開発にも貢献します。カナダ国内外において、セクター間のコラボレーションを促進し、芸術、アーティスト、芸術・文学団体の活動の活性化を支援し、文化外交を促進する上で、積極的かつ献身的な、鋭敏で責任あるパートナーとなることを目指します。

P14

2021-26年戦略計画の目的

2026年までに、カナダ全土の人々が芸術に触れることのできる機会を増やします。芸術セクターは、芸術を創造し共有するための既存のモデルを発展させ、また新たなモデルを創造します。

芸術および文学作品が、地域、カナダ全土、そして世界中で人々の目に触れ、賞賛、評価されるように取り組んでいきます。

恵まれない人々や社会から疎外された人々のグループに属する芸術家や文化人が、芸術において正当な地位を得て、その作品がカナダや世界の舞台でより広く紹介され賞賛されるように、また、脱植民地化、反人種主義、男女平等、あらゆる形態の差別やハラスメントとの戦いの分野で大きな進展が見られるように取り組んでいきます。

新しい意見の出現を促進し、若者のための居場所を作り、十分な支援を得られていない疎外されたグループのリーダーシップを促進するための具体的な支援策を模索します。

アーティスト、共同体、芸術団体は、私たちの集団的發展において、刺激的で革新的、かつ模範となる役割を果たすでしょう。彼らは、社会的責任を果たし、気候変動の破壊的な状況を軽減するために貢献する手段と資源を与えられるはずで

P15

2021-26年の方向性

再構築とイノベーションに投資

芸術が社会にもたらす恩恵を拡大

コラボレーションとパートナーシップの育成と拡大

P16

1 再構築とイノベーションに投資

当アーツカウンシルは、国全体の芸術セクターの包括的かつ持続可能な再構築を促進します。イノベーションは、それらの道のりの中心となるものです。

P17

コミットメント

当アーツカウンシルは

- 芸術と文学の創造を支援し、カナダ全土の芸術へのアクセス向上を促進します。
- 緊急支援と復興計画を通じて、芸術セクターの持続可能な再構築に投資します。
- 先住民族、黒人、被入種差別者、ろう者、障害者、2SLGBTQ、ジェンダー多様性のコミュニティのアーティスト、女性、そしてこれらのグループのはざまにいるアーティストを含む、若者、公用語少数派コミュニティ、歴史的に十分な支援を得られておらず疎外されているコミュニティへの資金提供を向上させます。
- カナダ北部の芸術・文学活動に対する存在感、交流、支援を強化します。
- カナダ全土のアーティスト、芸術団体、組織のために、より公平なプロジェクト資金へのアクセスを確保します。
- 革新的なビジネスモデルの開発を奨励し、現在進行中のデジタル変革をサポートします。

P18

2 芸術が社会にもたらす恩恵を拡大

芸術セクターは、カナダの社会的結束、コミュニティの活力、あらゆる背景や境遇の人々の生活の質向上に貢献する非常に大きな可能性を持っています。この可能性を実現するために、当アーツカウンシルは、性的アイデンティティ、人種、能力に基づく差別を含むあらゆる形態の差別の撤廃、気候変動への対応、芸術における若者の役割を認識し促進するための芸術セクターの活動を支援します。先住民の主権と民族自決を促進する努力、および先住民主導による芸術と文化部門の脱植民地化を支援します。芸術と文学の創造に対する公正な報酬、アーティストの経済的保護、カナダ全土のアーティストと人々のためのデジタルインフラとリソースへの公平なアクセスを確保します。

P19

コミットメント

当アーツカウンシルは

- 芸術セクターが公平性、多様性、包摂性を推進し、芸術セクターにおける人種差別と植民地化の影響を排除し、女性蔑視やあらゆる女性差別を覆し、男女平等を推進し、その活動の文脈で気候変動の影響を緩和する努力を行うことを奨励します。
- 先住民族の知的財産、伝統的知識、芸術的・文化的表現を尊重および保護し、芸術セクターがこの活動を推進する模範となるように奨励します。
- 特に社会的セーフティネットとして、アーティストと文化人の労働条件と経済的保障を改善することを支援します。
- アーティスト、芸術団体、組織、オーディエンスのために、特にカナダ北部のような十分な支援が行き届いていない地域において、デジタル資源への普遍的なアクセスを促進します。

P20

3 コラボレーションとパートナーシップの育成と拡大

芸術セクターの再構築と革新の能力を強化するために、当アーツカウンシルは、コラボレーション、分野横断的パートナーシップ、および文化外交の刷新を支援します。

P21

コミットメント

当アーツカウンシルは

- セクターを超えたコラボレーション、芸術セクター内の知識の伝達と共有を促進し、芸術セクターとカナダ社会をより広い範囲で結びつけます。
- 経済、コミュニティ、社会のポスト・パンデミックな復興において芸術を支援し、位置づけるために、特にソーシャル・イノベーションの分野においてカナダおよび国際的なパートナーとの関わりを深めます。
- カナダ出身のアーティスト、芸術団体、組織の国際的なプレゼンスを強化・拡大し、異文化間の対話と交流を促進する文化外交のイニシアチブを強化します。この活動は、多くのプラットフォームで行いますが、環境への影響を配慮するような方法で行われます。
- 北部における存在感と関係を強化し、そのユニークかつ多様な芸術および文化の創造と共有に努めます。

P22

モニタリングおよび報告

2021-26年戦略計画は当アーツカウンシルのミッションと連携し、カナダ国民を引き込んでコミュニティを豊かにし、さらに世界中で認められるような、活気に満ちた、創造的で多様な芸術と文学の実践に貢献するものです。芸術セクターはこの計画を通じて、短期的にはパンデミックの影響から回復するためのより良い立場を取り、長期的にはより公平で、レジリエンスがあり、持続可能なものとなっていきます。

当アーツカウンシルは、この計画を具体的な活動によってサポートします。前回の戦略計画と同様に、コミットメントの進捗を追跡し、報告するためのパフォーマンス測定のパッケージを開発します。量的・質的データ、カナダのアーティストや芸術団体に関する財務・統計情報、調査研究などを用いて、成果を測定します。当アーツカウンシルは、年次報告書、ウェブサイト、年次公開会議を通じて、戦略的計画のコミットメントの進捗状況を報告する予定です。

P23

今後の道筋

当アーツカウンシルの2021-26年戦略計画は、2年以上にわたる全国のアーティストや芸術団体、カナダ国内外の芸術出資者・パートナー、アーツカウンシルスタッフや理事、そして一般市民との対話や交流によって作成されました。まず2019年の夏にスタッフが3つの準州を訪れ、国内でのアウトリーチを強化し、次に2020年のリイマジン・ザ・アーツ(Reimagine the Arts)のエンゲージメント・プロセスで大きな成果を生みました。

この計画は、既知の課題、新しい課題、これから出現する課題といったさまざまな課題に直面する中で、強いポジティブな感覚によって進められています。そして何よりも、あらゆる人を歓迎し、より持続可能で、レジリエンスを持ち、公平な芸術セクターという目標を達成することは、単独では不可能であるという確信から生まれたものです。成長し続ける強い関係性、継続的な対話と交流、責任の共有、そしてコラボレーションによってのみこれは実現できるのです。

当アーツカウンシルの戦略計画は、この道程の最初のステップに過ぎません。これからの期間、私たちは自らの活動において模範となるよう努力し、そのミッションと計画に示されたコミットメントに従って、プログラム、活動、ポリシーの継続的な改善に努めていきます。

私たちは今、かつてないほど芸術を必要としています。当アーツカウンシルは今後5年間、芸術が私たちすべてに影響を与え、変化させることができるという確信を変えないこと、その活動を続けていきます。公的機関として、また、社会にポジティブな変化をもたらす芸術の力を信じる者の一人として、当アーツカウンシルは芸術をできるだけ多くの人々とつなげる義務があります。

私たちは、共にこの道を歩んでいきたいと願っています。

P24

アートに命を吹き込む

カナダアーツカウンシル(Canada Council for the Arts)

住所: 150 Elgin Street

Post Office Box 1047

Ottawa, Ontario

K1P 5V8

電話: 1-800-263-5588または613-566-4414

E-mail: info@canadacouncil.ca

canadacouncil.ca

2021年4月15日

表紙

2021-22年年次報告書

P2

写真:先住民にとって、カヌーはその土地との関係において特別かつユニークな存在です。

何千年の間その姿を変えることなく、何世代にもわたってカナダの人々の生活や娯楽に利用されてきたカヌーは、先住民の存在、文化の継続性、そしてこの土地で共有する未来の不朽のシンボルそのものです。アルゴンキン族のカヌーは、白樺の樹皮をトウヒの根で編みこんで作られています。その構造は、アルゴンキン族と周囲の環境との関係、つまり万物との相互関係を尊重することで築かれてきた関係性を物語るものです。このカヌーは、私たちの祖先、大地、その生命線である水路との関係を象徴しているのです。

カヌーとそのアイデアは、この最も重要な関係性について立ち止まって考える機会を与えてくれます。

アルゴンキン族のカヌー(The Algonquin Canoe)、2012年 ダニエル(ピノック)スミス(Daniel (Pinock) Smith)。白樺樹皮のカヌー、杉のリップ材、杉のパドル。カナダカウンシルアートバンク(Canada Council Art Bank)所蔵。写真:サンドラ・ダイク(Sandra Dyck)

このカヌーは、オタワのカナダ芸術評議会(Canada Council for the Arts、以降CCA)事務局にある「Ajagemo展示スペース」に常設展示されています。

カナダ芸術評議会(Canada Council for the Arts)

150 Elgin Street

Post Office Box 1047

Ottawa, Ontario

K1P 5V8

1-800-263-5588 or 613-566-4414

info@canadacouncil.ca

canadacouncil.ca

カナダ芸術協会の事務所は、アルゴンキン族の伝統的な未占有の領土に所在しています。

Published in Canada.Cat.No. K21-1E-PDF.ISSN 1493-5589
CCAの第65回年年次報告書および助成金サービス、賞に関する補足情報は、公式ホームページにてご覧いただけます。

P3

CCAは、当評議会が所在するこの地が、太古の昔からここに居住していたアニシナベ・アルゴンキン族の未占領、未譲渡の領土であること、またアルゴンキン族がオタワ川流域とその支流の伝統的な守護者および擁護者であることを認識しています。この美しい領土にさまざまな国の人々を受け入れてきた彼らの長い歴史に敬意を表し、この母なる国の声と価値観を支持し高めたいと思います。

さらにCCAは、この土地に住むすべての先住民の固有の権利と条約による権利を尊重し、それを認識しています。これまで先住民国家およびその先住民族に対して行ってきた民族自決と主権に関する公約を尊重し、今後もそれを継続していきます。

私たちが現在カナダとして認識している土地、文化、先住民族に対する歴史的な抑圧を認識しています。また、芸術とは私たち全員が共有する癒しと先住民の土地の解放に続く道程に貢献するものであると強く信じています。

この土地および先住民への謝辞はアルゴンキン族のコミュニティメンバーによって作成されたもので、同コミュニティの寛大さと協力に感謝いたします。

P4

ミッション

CCAは、創造的で多様な芸術・文学セクターに活気をもたらす、カナダ全土および世界各地でのその存在を知らしめるよう支援しています。CCAは、カナダの公的な芸術助成団体であり、「芸術の研究および鑑賞、ならびに芸術作品の制作を育成・促進する」ことをそのミッションとしています。

カナダのプロのアーティストや芸術団体に対し、助成金、支援、賞金、報酬などの幅広い範囲で優れた芸術を保護するために投資を行っています。その活動は、活気に満ちた、多様で優れた芸術と文学がカナダ国民の関心を集め、地域社会を豊かにし、世界中の市場に届くようにすることを目指したものです。

また、芸術基金、コミュニケーション、リサーチ、アートプロモーション活動を通じて、国民の芸術に対する認識と賞賛の声を高めています。

公貸権(PLR)プログラムは、カナダの公共図書館に作品が所蔵されているクリエイターに対して毎年報酬を支払うプログラムです。

カナダカウンシルアートバンクは、アート作品のレンタルプログラムを運営しており、この事業を通じて現代アートに対する一般の人々の参加を促進しています。

平和、公平、持続可能な未来に貢献するため、カナダユネスコの価値観とプログラムを推進するカナダユネスコ委員会(Canadian Commission for UNESCO、以降CCUNESCO)としての責任も担っています。

CCAは、11人のメンバーから構成される理事会によって運営されています。理事会メンバーおよび理事兼CEOは、総督によって任命されます。CCAは、連邦政府、州政府、準州政府、自治体の芸術・文化機関や部局と密接に連携しています。

1957年に議会法によって設立された王立企業であり、カナダ文化遺産省を通じて議会に直属している組織です。議会から資金提供を受け、その年間予算は基金、寄付、遺贈によって補われています。

P5

目次

議長からのメッセージ

理事兼CEOからのメッセージ

主な業績

ガバナンス

経営陣による検討と分析

財務諸表

P6

議長からのメッセージ

私が議長に就任して2年目になりますが、カナダ芸術評議会は、アーティスト、アート関係者、そしてさまざまなコミュニティの市民たちの声に耳を傾け、私たちの活動が可能な限り大きな影響を与えるよう努力し続けてきました。

特に、今年初めに開始した2021-26年の戦略計画「アート、かつてないほどに(Art, Now More Than Ever)」の策定においては、より熱心に関係者の声を取り入れました。また、3月にオンラインで開催された年次公開会議では、全国の関係者が集結しました。しかしCCAの活動は、単発のイベントにとどまるものではありません。スタッフとアーティスト間のコミュニケーションから、世界中のアートファンとのソーシャルメディア上の交流に至るまで、あらゆる日常業務が当評議会の活動なのです。

芸術セクターからはもちろん、それ以外の分野からも、有益な質問、洞察、アイデアをいただくことができ、とても心強い1年でした。このようなエンゲージメントは、皆さまのCCAに対する強い信頼と、社会における芸術の重要な役割に対するコミットメントを共有していることを示すものと考えています。

カナダ政府の当評議会へのご協力にも深く感謝いたします。実際、アーティストや芸術セクターが現在直面している課題について理解することは、このセクターにおける強力なパンデミック緊急対応を実践するためにも不可欠なことです。

また、当評議会執行部のリーダーシップに拍手を送りたいと思います。当評議会がパンデミックのさなかにも芸術を支援し続け、先見性のある戦略計画を策定することができたのは彼らのおかげです。同様に、通常業務と並行して緊急支援に携わってくれた全スタッフにも敬意を表したいと思います。

P7

この一年間、組織をしっかりとして監督してくれた仲間である理事たちの献身的な働きにも深く感謝しています。これからの1年間も、私たちが一丸となって取り組むことで、より強く、よりレジリエントで、包括的な芸術セクターを再構築する道のりの中で中心的な役割を果たせることと確信しています。

このような状況においてさえも、理事兼CEOのサイモン・ブロールトは、組織と芸術に対するインスピレーションにあふれるビジョンで、当評議会を導いてくれました。彼のリーダーシップに感謝の意を述べたいと思います。

ジェシー・ウェンテ(Jesse Wente)
議長

P8

理事兼CEOからのメッセージ

パンデミックが発生してから2年立ちましたが、私たちの世界はまだまだに戦いを続けています。芸術セクターは2年連続で健康危機の影響に直面し、アーティストや芸術団体に深刻な影響を与えましたが、彼らの回復力に再び敬意を表したいと思います。

セクターの再建という考えは、当評議会の2021-26年戦略計画「アート、かつてないほどに」の中核をなしています。今年度は、この戦略計画の最初の実施年度でした。この計画の目標と行動は、意欲的であると同時に、勇気があり、必要なものでもあります。本報告書をご覧ください。ただお分かりになるとおり、この初年度の結果はポジティブなものであり、より明るい未来の始まりであると信じています。

今年、当評議会は、連邦政府出資によるパンデミック関連の一時支援金を含め、記録的な資金援助額により芸術セクターを支援することができました。当評議会の目標は、この危機を乗り越え、アーティストと芸術組織を支援することでした。

予測不可能な労働環境であったにもかかわらず、今年もまた並外れた献身的な働きぶりを見せてくれた執行部および理事会の仲間たち、そして従業員たちに心より感謝したいと思います。

P9

同時に、これからもっと多くの責務が待っているという現実を見失わないようにすべきです。芸術セクターは徐々に回復しつつありますが、芸術や文化は私たちにあって不可欠なものであるため、芸術セクターがその強さと活力を取り戻すことは、すべてのカナダ人にとっての利益となるでしょう。

サイモン・ブロールト(Simon Brault)(OC, OQ)
理事兼CEO

P10

2021-22年の資金調達の概要

2,341もの芸術団体が2億8,220万ドルの資金を獲得し、そのうち369団体が初めて資金提供を受けた団体となり、その合計は1,680万ドルとなりました。

4,804人のアーティストが1億3,030万ドルの資金を獲得し、そのうち2,197人が初めて資金提供を受けたアーティストとなり、その合計は5,050万ドルとなりました。

810ものグループが4,550万ドルの資金を獲得し、そのうち466グループが初めて資金提供を受けた団体となり、その合計は2,160万ドルとなりました。

18,139人のクリエイターが、合計1,500万ドルの公債権プログラムによる資金を獲得し、そのうち110万ドルは、新規登録された作品に対して授与されました。

2,084もの国内のコミュニティが助成金、賞金などを獲得しました。

628人ものアーティストやアートプロフェッショナルたちがピアアセッサー(相互評価者)として参加しました。

P11

主な業績

この一年、COVID-19のパンデミックにより、デジタルオーディエンス体験が普及したり、国際的な活動や人とのつながりが制限されたり、芸術を含む広範な社会において格差が浮き彫りになったりと、カナダの芸術セクターはさまざまな影響を受けました。簡単に言えば、パンデミックは、本報告書に詳述した主な業績を含め、この一年の当評議会の活動を決定づける要素となりました。

パンデミックによる影響に対処するために、2021-22年は、当評議会は通常の資金提供に加えて、1億4,550万ドル¹の緊急支援金を芸術セクターに提供しました。過去最高額である4億7,480万ドルを投じて、機関、団体、個人アーティストや作家たちに直接的な支援を提供したことになります。

1.緊急支援金1億4,550万ドルに加え、当評議会は上記の資金提供に伴う管理費として50万ドルを受領しました。

P12

主な業績

2021-26年の新たな戦略計画の立ち上げ

2021年4月15日、2021-26年の戦略計画「アート、かつてないほどに」を開始しました。この計画は、オーディエンスや盟友と共に、より強く、よりレジリエンスがあり、より包括的な芸術セクターを再構築するための呼びかけとなるものです。

P13

このビジョンを遂行するために、3つの戦略的方針があります。

1.再構築とイノベーションに投資

国全体の芸術セクターの包括的かつ持続可能な方法での再建を促進します。イノベーションは、その集合的な道のりの中心となるものです。

2.芸術が社会にもたらす恩恵を拡大

当評議会は、ジェンダーアイデンティティ、人種、能力に基づく差別を含むあらゆる形態の差別の撤廃、気候変動への対応、芸術における若者の役割を認識し促進するための芸術セクターの活動を支援します。先住民の主権と民族自決を促進する努力、および先住民主導の芸術と文化部門の脱植民地化を支援します。芸術と文学の創造に対する公正な報酬、アーティストの経済的保護、カナダ全土のアーティストと人々のためのデジタルインフラとリソースへの公平なアクセスを確保します。

3.コラボレーションとパートナーシップの育成と拡大

芸術セクターの再構築と革新の能力を強化するために、当評議会は、コラボレーション、分野横断的パートナーシップ、および文化外交の刷新を支援します。

これらの方針に加えて、独自の取り組みもさらに強化し、芸術セクターと私たちの社会におけるこの重大な転換期について学び、適応し、進み続けたいと思っています。当評議会は、より公平で、レジリエンスがあり、持続可能な芸術セクターの復興を目指し、その活動を常に問い直し、見直し、改善することを約束します。

P14

主な業績

戦略計画の実行

当評議会は芸術セクターの人々とともに「アート、かつてないほどに」のビジョンとコミットメントについて語り合い、行動するために、2021年11月30日と12月1日にコミュニティを交えたイベントを開催しました。このイベントは、主に公平性、イノベーション、パートナーシップに関連する戦略計画に焦点を当てたもので、同戦略計画の立ち上げ以来、当評議会在芸術セクターと行った最初の公開ミーティングとなりました。

こういったオンラインミーティングにより、当評議会は芸術の再構築に必要なアイデアやプロジェクト(すなわち、戦略計画を実現するための重要な情報)について知ることができました。アートをより公平なものにする方法など、共通の関心を寄せるテーマについてアーティスト、アート関係者、リーダーたちの間でコンセンサスを得ることができ、芸術セクターにとっても、当評議会在イノベーションを支援する方法について学ぶ機会を得ることができました。

2021年11月、当評議会は戦略計画の実行策も発表しました。この実行策は、戦略計画のコミットメントを推進するために必要な具体的な取り組み、ポリシー、実践を示しています。

この表は、過去1年間の新たな戦略的資金に対するコミットメントの進捗状況を表したのです。

今後4年間かけて戦略的計画が実行されますが、本戦略計画の実行策の詳細については「優先事項」のページで報告する予定です。またその過程で、実行策を見直し、新しい実行策を追加していく予定です。

P15

2021-26年の戦略的資金へのコミットメントの進捗状況

予定通り

総資金の50%以上をプロジェクト資金に充当

2021-22年:

53.3% プロジェクト資金

46.7% コア資金

2020-21年のベースライン:総資金(ベース予算)の54%をプロジェクト資金に充当

プロジェクト資金の20%を新規助成対象者に充当

2021-22年、プロジェクト資金の新規助成対象者に総額\$83.8Mを支給:

30%が新規助成対象者に充当

先住民の芸術および文化支援に\$100M

\$36.5M 実績

2025-26年までに\$100M

芸術セクターの革新的な再構築のために\$200M

\$88.3M 実績

2025-26年までに\$200M

国際活動支援に\$110M

\$19.8M 実績

2025-26年までに\$110M

公債権プログラムへの投資 \$74M

\$15.0M 実績

2025-26年までに\$74M

P16

主な業績

復興への道を歩むアーティストとアート関係者に対する支援

2021-22年、当評議会は、アーティストと文化人の雇用機会を創出するプロジェクトに対し、総額1億2,050万ドルの緊急支援金を提供することで、パンデミック下における現行の課題に対応しながらも芸術セクターを支援してきました。この資金は、カナダ文化遺産省が2021-22年にライブアートや音楽セクターを支援するために提供した1億8,150万ドルから充当されました。

当評議会は、2021年4月に「Digital Now」イニシアチブによる資金分配を開始しました。このイニシアチブでは、総額7,720万ドルが分配され、そのうち5,000万ドルが緊急支援金としてアーティストグループ、集団、芸術団体に提供され、既存の作品を改作し、オンラインで鑑賞可能な新作を制作する等の活動が実現できました。Digital Nowの資金提供プロジェクトを通じて、合計69,000人近くのアーティストとアート関係者が支援金を受領する予定で、双方に支払われる制作費や報酬などを合わせると5,080万ドルになると予想されています。本イニシアチブにより、カナダおよび世界中のオーディエンス向けに、23,000以上もの新作および改作が完成しました。このようにアーティストらは、パンデミックによって対面型の体験に多くの制限があったにも関わらず、人々とのつながりを保つことができました。

さらに昨年は、「探求し創造する」プログラムを通じて、7,050万ドルの緊急支援金を追加で交付しました。本プログラムは、主に個人アーティストやグループによる芸術作品の創作、制作、普及を支援するものです。この資金投入により、アーティストや文化人の多くの雇用が創出されました。

P17

また、意欲的な新作活動、長年にわたるプロジェクトの完了、作品のデジタル化など、さまざまな形で助成対象者の芸術的發展に貢献しました。

2021年6月28日、政府は総額5億ドルの「芸術・文化・遺産・スポーツセクター復興基金」および「再開基金」の一環として、当協議会に7,500万ドルを追加で支給することを発表しました。2021-22年、当評議会は上記資金のうち2,500万ドルを1,000以上の芸術団体に投入したため、対面型の芸術活動を再開することができました。また2022-23年には残りの5,000万ドルを、セクターの復興に向けた研究、創作、作品の制作、国内ツアー活動、セクターイノベーションなどに投資する予定です。

2.緊急支援金1億2,050万ドルに加え、当評議会は上記の資金提供に伴う管理費として50万ドルを受領しました。

P18

主な業績

イノベーションによるアートの再構築

戦略計画に明示されているように、当評議会はアーティストと芸術団体にとって持続可能な発展の鍵である「イノベーション」を支援したいと考えています。

当評議会にとって、イノベーションとは芸術的な創造性や無限の経済成長のことではなく、以下のような広範な問題を解決することです：

- 公平性、多様性、包摂性
- 報酬や労働条件
- 芸術セクターの立場を確立
- 植民地主義の影響
- 持続可能な組織と収益モデル
- デジタルトランスフォーメーション

P19

5年間の戦略計画において、当評議会は2億ドル以上を投資し、革新的なビジネスモデルの開発、継続的なデジタル変換などを促進し、より強く、よりレジリエントで、よりつながりのある、公平かつ包括的で持続可能な芸術セクターを再構築する予定です。

この2億ドルの投資に向けて、2021年11月に「戦略的イノベーション基金」を立ち上げました。当基金は、芸術セクターにおける様々な問題を解決し、より強く、包括的かつ公平で持続可能なセクターを発展させるために行っている幅広い活動を支援します。本基金では、プロジェクトの準備レベル、対象範囲、段階、予算要件等に応じて、アーティスト、芸術グループおよび団体が新しいアイデアの開発、実験、コラボレーションを行えるよう、さまざまな方法を提供しています。また、芸術セクターでの戦略的イノベーション基金の認知や理解を深めるために、ウェビナーなどのアウトリーチ活動も実施しました。

昨年は、イノベーションの一環として、複雑な問題に対して創造的な解決策を得ることを目的とし、芸術団体、グループ、集団を支援、奨励するために、セクターを超えたパートナーシップを構築することを発表しました。その一環として、カナダ自然科学・工学研究評議会(Natural Sciences and Engineering Research Council of Canada, NSERC)による大学・地域社会イノベーション基金(Colleges and Community Social Innovation Fund)と複数年にわたるパートナーシップを結びました。このイニシアチブは、芸術団体、グループ、またはアーティスト集団が他のセクターと協力する機会を提供するもので、弱者層の救済、コミュニティの開発、社会正義、脱植民地化、気候変動、健康と福祉の育成といった複雑な社会問題に対して、より効果的で公正かつ耐久性のある解決策を提供可能なコミュニティ・イノベーションを奨励することです。

また当評議会の影響力を深めるために、既存のパートナーシップに対しても、新しいアプローチを取り入れました。例えば、カナダ国立美術館(NGC)とのパートナーシップです。パンデミックの影響で、視覚芸術およびメディア芸術総督賞(GGArts)を会場で表彰する機会が制限される中、当評議会はNGCとともにソーシャルメディアに重点を置いたデジタルキャンペーンを実施し、視覚芸術、メディア芸術、美術工芸において目覚ましい貢献をした今年の実績者を国内および世界中のオーディエンスに紹介することができました。

P20

主な業績

公平性の推進

当評議会は、現在の戦略計画以前から、より公平な芸術セクターの支援に取り組んできましたが、パンデミックは数多くの不公平を悪化させ、新たな不公平を生み出したため、重点的な対応が必要になりました。従ってこの一年、当評議会は、カナダ政府からパンデミック関連の芸術資金を獲得する活動において公平性という視点を重視しました。当評議会は、先住民、被人種差別者、ろう者や障がい者、公用語マイノリティのコミュニティ(OLMC)といった指定優先グループを含み、アーティストや芸術関係者への継続的な支援の必要性を唱えました。この活動の結果、920万ドルの追加支援が決まりました。この資金は2022-23年にかけて、全国各地の指定優先グループのコアファンディング団体に分配され、各コミュニティのアーティストや芸術関係者へと提供される予定です。

より公平な芸術セクターを目指すというビジョンを推進するために、当評議会は、助成金申請者や助成対象者の構成に関する重要な情報を大切にしています。申請者は、当評議会の申請ポータルサイトから「任意自己申告書(Voluntary Self-Identification Form)」を提出することができます。昨年、当評議会はこのフォームを更新しましたので、申請者は、性自認、性的指向、人種的自認に関する幅広い自己申告情報を提供することができます。より多くの申請者情報を得ることによって、当評議会は将来の資金不足をよりの確に把握し、対応することができるようになるでしょう。

また昨年、カナダ人種関係基金とパートナーシップを結び、カナダ全土の反人種主義基金によって行われている反人種主義プロジェクトを支援しています。当評議会の寄付は、2022年には合計20万ドルにのぼる予定です。また、このパートナーシップでは、人種差別撤廃プロジェクトを調査し、カナダ全土の公平性における幅広いニーズを把握し、芸術における人種差別に対処する今後の取り組みにより良い情報を提供することも目的としています。

P21

カナダカウンシルアートバンクは、歴史的な不公平と障壁を是正するため、黒人アーティストの作品10点をそのコレクションに加えました。これらの作品の追加により、これまでアートバンクのコレクションに黒人アーティストの作品が少なかったという歴史的な不均衡を是正することができました。今回追加された作品のうち2点は、Still Tho: Aesthetic Survival in Hip-Hop's Visual Art 展で紹介されたアーティストの作品です(オタワのエルジンストリート150番地所在の当評議会「Ajagemo展示スペース」にて)。マーク・V・キャンベルのキュレーションによるこの展覧会は、社会の変革を促すような作品によってヒップホップ文化を形成したカナダのビジュアルアーティストに焦点を当てたものです。この展示は、対面型の一般公開に加え、キュレーターとのバーチャルツアーによって国内外の人々が鑑賞することができました。

P23

当評議会は昨年、インスタグラムのアカウントを2回にわたり「乗っ取り」、アーティストや芸術団体の生の声やコンテンツを紹介し、幅広い視点でオーディエンスと関わりました。2021年12月3日、障がい者芸術の実践と国際障害者デーを記念して、BEING スタジオと

ダンススクールの「Corpuscule Danse」は、障がい者芸術の実践に根ざした創造的な表現を当評議会のソーシャルメディアで紹介しました。2月には、黒人歴史月間を記念して、アーティストやCross-field House Productions, Asuquomo, Woezo Africa Music & Dance Theatre Inc, Dawn Shepherd, Laurena Finéus といった黒人芸術関連の団体によるインスタグラムの「乗っ取り」が行われました。

当評議会は、カナダの様々なコミュニティをよりよく反映し、取り込むことによって、より公平な芸術セクターを推進することができると確信しています。そのため、2021年2月評議会内部でも多様性、公平性、包摂性を育むための大規模な採用キャンペーンを開始しました。この採用キャンペーンは、すべての人を対象としていますが、先住民、黒人、被人種差別者、ろう者、および/または障がい者であることを自認する応募者を優先しました。

このキャンペーンは1年以内に目標を達成し、優先グループの人数増加を達成することができました。

先住民のスタッフが4.6%から5.2%に増加
 被人種差別者のスタッフが16.8%から22.5%に増加
 ろう者や障がい者のスタッフが6.8%から7.8%に増加
 評議会の経営陣のうち、優先グループからの代表者は35%に増え、70%以上が女性であると自認しています。組織全体のスタッフの約70%が女性です。

P24

主な業績

先住民の主権と民族自決を支援

2021-26年の戦略計画において、当評議会は、先住民の主権および自決を支援し、芸術における先住民族の解放を支援するというコミットメントを改めて表明しました。

このコミットメントを推進するため、2021-22年に当評議会は非営利団体先住民キュラトリアルコレクティブ(Indigenous Curatorial Collective, ICCA)とパートナーシップを結び、コミュニティケアズ復興支援基金(Community Cares Recovery Response Fund)を設立しました。同基金は、緊急対応基金「コミュニティケアズ」イニシアチブを土台とするもので、芸術・文化セクターで活動するフェースト・ネーションズ、イヌイット、メティスなど、パンデミックにより不公平な影響を受けた先住民コミュニティに属するアーティストを支援することが目的です。

2022-23年、復興支援基金45万ドルを拠出し、個人のアーティスト150人に各3,000ドルの少額助成金を分配し、パンデミックによる被害からの芸術セクター再建に向け、組織の能力構築と先住民の主権と自決を中心とするパートナーシップの構築を支援します。

また昨年は、2022年の「北極圏アートサミット」のための基礎固めも進めました。本サミットは2022年6月にユーコン州政府と共催するイベントで、カナダ全土および北極圏周辺の多数の協力者の支援を得て開催予定です。このサミットは、北極圏の芸術と文化を強化し、芸術とクリエイティブ産業のコラボレーションを促進するために、北極圏における協力を発展させることを目的としたもので、今回で3回目の開催となります。共同主催者としての評議会の活動は、北極圏における先住民の文化的主権と自決を尊重し、再認識するという原則のもとに行われています。

P25

サミットの開催に先立ち、一般の人々の参加を促すため、デジタルプラットフォームを立ち上げ、土地、言語、脱植民地化など、さまざまなトピックを扱ったコンテンツを用意しました。

また、「先住民族の芸術および文化に対する公的資金の価値に関する研究」(Research on the Value of Public Funding for Indigenous Arts and Cultures)を開始しました。これは、先住民族の世界観に根ざし、文化的主権を尊重した自己決定的なアプローチを通じて、先住民族のコミュニティにおける芸術・文化の役割と、先住民族の芸術コミュニティに対する公的投資の価値を考察する、当評議会初の研究プロジェクトです。このプロジェクトは、オーナーが先住民族であり、女性が主導している企業「Archipel Research and Consulting」と共同で実施されています。このプロジェクトでは、先住民のアーティスト、芸術グループおよび団体、コミュニティのメンバーなど、幅広い層と協議を行い、フレームワークを開発しました。先住民族アーティストへの資金援助や先住民族の芸術と文化が全カナダ人の生活におよぼす重要な役割についての理解を深めることがその目的です。このプロジェクトの報告書は2022年秋に発行される予定です。

先住民の主権と自決をさらに支援するために、当評議会は組織内部でも重要な変更を行う必要があることを認識しました。1957年に当評議会が設立されたことを含み、カナダの植民地時代の歴史について、先住民族と入植者を含む全スタッフが共通の理解を持つように努めています。カナダの植民地主義政策、反人種主義、社会と芸術において現在も見られる障壁について学ぶ研修も行われました。また、当評議会の先住民スタッフは、組織全体の各レベルの先住民スタッフで構成される先住民協議会 (Indigenous Caucus) を創設しました。このグループは、今後数年間、脱植民地化に向けた組織の歩みを進めるために、重要な洞察と助言を提供することになるでしょう。

P26

カナダユネスコ委員会(CCUNESCO)

CCUNESCOは、当評議会の権限のもとに運営されており、政府代表と市民代表からなる執行委員会がその活動を指導しています。CCUNESCOは、ユネスコのイニシアチブがカナダに関連していること、実施されること、そしてカナダ人の声がユネスコの活動に反映されることを目指しています。

2021年秋、ユネスコの第41回総会が開催されました。新しい「オープンサイエンスに関する勧告」と「AI倫理に関する勧告」が採択され、これらの分野における主要な目標を理解・共有するための共通の枠組みが提供されました。さらに、総会では、2022年から29年にかけてのユネスコの新しい中期戦略が承認されました。2021年に採択されたCCUNESCOの戦略計画は、上記計画と密接に連携しています。3つの戦略目標を含む過去1年間の関連活動は以下に詳述しています。

P27

目標1

教育、文化、表現の自由、反人種主義により、包括的で公正かつ平和な社会を実現する

包括、正義、平和は、ユネスコの使命の中核であり、私たちの世界では緊急に必要とされているものです。CCUNESCOは、2021-22年にこの目標を大きく前進させることができたことを嬉しく思います。

2021年10月、CCUNESCOの支援を受けて、ロンドン(オンタリオ州)はユネスコ音楽創造都市(UNESCO Creative City of Music)に指定されました。これにより、ロンドンの音楽シーンの知名度が上がり、音楽、持続可能な開発、包括といった取り組みをつなげる重要な活動に貢献することでしょう。

CCUNESCOは非営利シンクタンクの「Metropolis Institute」と提携し、「Congrès Metropolis Francophonie Mondiale」を開催し、移民と包括に関する問題についてフランス語圏の思想家や意思決定者と意見交換しました。このイニシアチブは、人種差別との戦いというCCUNESCOの優先事項に合致し、その重要なネットワークの一つである包括的自治体連合(Coalition of Inclusive Municipalities)の活動を支援するものです。

CCUNESCO、グローバル教育センター、TakingITGlobalは「#Decarbonize:#Decolonize」というパートナーシップを構築しました。このパートナーシップは、気候変動、気候への信頼、気候正義をめぐる包括的な学習の旅を奨励し、若者たちが学校や地域社会で実際に持続的な変化を起こせるように援助することを目的としています。このパートナーシップは、若者のリーダーシップを主流にしたいと願うCCUNESCOの新しい優先事項に対応しています。

P28

目標2

科学、技術、教育、文化によって、持続可能な開発に貢献する

ユネスコは、持続可能な開発のための知的・文化的協力という面で重要な役割を担っています。CCUNESCOの取り組みのうち、2つを以下に紹介します。

CCUNESCOは毎年秋に、学術関係者から「ユネスコチェア」プログラムへの参加者を募集しています。カナダでは現在、30校の大学がこの名誉あるポジションを設けており、ユネスコの目標や優先順位に沿いながら、国連の持続可能な開発目標をサポートする立場となります。CCUNESCOは、今年すでに多数の申請書を受領・処理し、UNESCOに提出しており、このプログラムへの継続的な関心の高さと価値は明らかです。

CCUNESCOは、教育分野におけるCCUNESCOの長年のパートナーである「STEM Fellowship」と協力して、ビッグデータチャレンジプロジェクトを実施しました。このプロジェクトでは、若者が分析能力を身につけ、人類が直面している緊急の問題に取り組むことを最終目標としています。

目標3

政府と市民社会が次世代に残す自然・文化・記録遺産を保護する

ユネスコは、伝統的な文化表現、保護された景観、その他の形態の遺産を含め、遺産を保護したいと考えています。その理由は、それらが現在重要な価値を持ちながらも、しばしば脅かされているからです。2021-22年、CCUNESCOはいくつかの方法でこの目標を推進しました。

CCUNESCOは評議会の支援を受け、ロシアの侵攻を受けたウクライナの文化遺産を保護することを目的とし、ユネスコ遺産緊急基金に20万ドルを寄付しました。さらにカナダ文化遺産省からも同額の20万ドルが寄付されたため、合計40万ドルの寄付となりました。

この寄付はカナダ政府からの支援も含まれており、ブリュッセルで開催されたNATOとG7の会議後にトルドー首相によって発表されました。

P29

CUNESCOと先住民、コミュニティ、政府のパートナーによる長年の協力および交渉の末、ユネスコは、Átl'ka7tsem/Howe Sound をカナダで19番目の生物圏地域に指定しました。

芸術、文化、経済、地理、言語、政治、科学、精神、アイデンティティに基づく遺産への普遍的なアクセスをもたらす「カナダ世界記憶遺産登録」に5つの遺産が登録されました。

グイッチン先住民評議会(Gwich'in Tribal Council) -グイッチン社会文化研究所の資料(NWTアーカイブ)、グイッチン文化の保存・普及のために作成された先住民の知恵のコレクション。

メティス民族リバーロット入植地マップ(Métis Nation River Lot Settlements Maps)(カナダ国立図書館・文書館):1870年代からカナダ政府の測量士によって作成された、メティス民族の知識を深めるためのリバーロットマップ。

ヴィオラ・アイリーン・デズモンドの裁判記録(Viola Irene Desmond Court Records)(ノバ・スコシア州文書館):1946年に同州の制度的人種差別に異議を唱えたノバ・スコシア州のアフリカ系女性実業家、デズモンドに関する法的文書や報道。カナダの公民権運動のターニングポイントを記録した資料とも言える。

アルバン・D・マカーディーの遺品(オンタリオ資料館):カナダの「地下鉄道」と黒人史を理解する上で、傑出したコレクションの一つ。

ヴァイオレット・アーチャーの遺品(アルバータ大学資料館):教授であり、国際的に有名な作曲家であるアーチャーの作曲、研究、教育、人生に関する75年以上にも渡る記録。

P30

ガバナンス

P31

理事会のミッション

カナダ芸術評議会は、議長、副議長、およびカナダ全土から集まった9人のメンバーからなる理事会によって運営され、理事長兼CEOは、総督によって任命されます。理事会メンバーは任期を定めて総督によって任命されます。理事会は、少なくとも年に3回開催されます。

理事会は、CCAのステュワード(幹部)として、組織の方針、プログラム、予算、助成金の決定、戦略的計画の監督に責任を負っています。理事会は、カナダ文化遺産省を通じて議会に直属している組織です。

理事会の一般的な職務は、CCAの付属定款 とガバナンスポリシーに記載されています。

ハイライト

2021-22年、理事会は4回の会議を開催し、以下のことを行いました。

- マリー・ピエール・ジェルマン(Marie Pier Germain)を副議長として、イングリッド・レオン(Ingrid Leong)を理事として迎え入れました。
- 芸術団体への50万ドルを超えるコアファンドを承認しました。これには、連邦政府の再開基金による2,500万ドルの一部である、イベントおよび対面型体験のため再開資金の追加投資が含まれます。
- カナダユネスコ委員会戦略計画 2021-26 と、CCUNESCO新会長および新副会長の指名を承認しました。
- 権限委譲、付則、ガバナンスポリシーへの変更、および投資方針と目標に関する声明、環境・社会・ガバナンス声明への変更を含む、評議会の予算と諸方針に関する監督を行いました。
- 監査・財務委員会の新委員と新委員長の任命、投資委員会の新委員2名の任命、CCUNESCO執行委員会とカナディアン・パブリック・アーツ・ファンダー(CPAF)ネットワークの理事会代表の再任を承認しました。
- 評議会内部のデジタル運営とサービス提供への移行、および企業リスクプロファイルとリスク軽減計画の監督を継続しました。
- 運営予算と資本予算、年次財務諸表、2022-23年から2024-25年までのローリングリスクベースの内部監査計画を承認しました。
- 2022年3月30日に年次公開会議をバーチャルで開催しました。

COVID-19の影響により、公衆衛生に関する集会の制限に伴い、すべての理事会はバーチャルで開催されました。

P32

理事会の独立性

理事会の全メンバーは独立した立場を取っています。理事会には、理事長兼CEO、および執行部が出席し、情報の提供や活動報告を行います。議決権行使や意思決定は理事会メンバーのみが行っています。理事会の各委員会は、理事会のメンバーで構成されています。投資委員会には、知識および専門性の観点から選ばれた外部の専門家が参加しています。各理事会では、理事兼CEOおよび理事会メンバーのみを対象とした非公開会議が行われます。

倫理的業務遂行を行う文化

理事会メンバーは、非常勤の公職者として、連邦政府の「利益相反法」と「公共部門の価値・倫理規定」を遵守します。理事会は、現実の利益相反、明白な利益相反、潜在的な利益相反を年次で、また年間を通じて発生した時点で開示することが義務づけられています。

企業の社会的責任

CCAは、企業の社会的責任に則って、その役割と権限を遂行することを約束します。そのため、社会的、倫理的、環境に関する方針と実践の面でリーダーとなるよう努め、すべての決定において社会的、倫理的、環境に関する影響を考慮しています。

このコミットメントを実現するために、以下を実践しています。

- 正直、誠実、公正に業務を遂行し、すべての意思決定プロセスにおいて倫理的配慮とその意義の周知が組み込まれていることを保証します。
- CCAが奉仕するコミュニティ、すなわちカナダ全体とともに活動し、そこから刺激を受けています。地域社会を豊かにし、世界中の市場に働きかけるような活力ある芸術セクターを通じて、カナダ国民にインスピレーションを与えるよう努めます。
- 尊敬の念を示し、ウェルビーイングを奨励し、従業員のパフォーマンスと能力開発を刺激し支援するような組織風土を提供するよう努めます。
- 環境フットプリントを削減するために先見性と積極性を持ち、環境の持続可能性への配慮をその活動に取り入れます。
- ステークホルダーの信頼と信用を維持するために、公的な説明責任とオープンなコミュニケーションの重要性を認識し、透明性のある方法で事業を行います。

理事会はこれらのコミットメントを監督し社会・環境・倫理的配慮を取締役会関連のすべての事項に統合する責任を負っています。

任命および再任

イングリッド・レオンが、2021年12月13日から2025年12月12日までの5年間の任期で、理事に任命されました。

マリー・ビエール・ジェルマンが、2021年12月17日から2025年12月16日までの4年間の任期で、理事会の副議長に任命されました。

P33

ベン・ニンド(Ben Nind)の理事会メンバーとしての任期は2021年4月4日に終了しましたが、2021年5月11日から2025年5月10日までの4年間の任期が更新されました。

シェリル・ヒックマン(Cheryl Hickman)の理事会メンバーとしての任期は2021年4月4日に終了しましたが、2021年5月21日から2025年5月20日までの4年間の任期が更新されました。

ジェニファー・ドナー(Jennifer Dorner)の理事会メンバーとしての任期は2021年6月5日に終了しましたが、2021年8月04日から2023年8月03日までの2年間の任期が更新されました。

これらの任命および再任は、その公的機関の完全性を確保するため、オープンで透明性が高く、実力主義である総督の申請および選考プロセスを踏襲したものです。

2022年3月31日現在、理事会には2名欠員が出ています。

オンボーディング・プログラム

新任の理事会メンバーには、初回の会合に先立ち、包括的な情報パッケージが配布されます。また、委員会の会合にも出席し、協議会の業務について学ぶことができます。新任の理事会メンバーには、任命された各委員会の前にオリエンテーション・セッションが開かれます。

理事会の多様性

CCAは、公平性と多様性の価値をその運営に組み込んできた歴史があります。ガバナンスポリシーにある「理事会の多様性に関する原則声明」は、理事会の多様性に関するCCAの価値観と目標を要約し、公表することを目的としています。これには、男女の公平性と多様性に加え、カナダの公用語、地域、世代、ろう者や障がい者、先住民族、黒人、被人種差別者の代表が理事会に参加することが含まれています。

業績評価

毎年、ガバナンス・指名委員会の指示のもと、理事会は取締役会全体とその委員会のパフォーマンスを評価します。

理事兼CEOの業績は、枢密院事務局の「王立企業の最高経営責任者のための業績管理プログラム」に基づいて、毎年理事会によって評価されます。理事会は、理事兼CEOの年次業績評価の結果をカナダ文化遺産省に報告します。

コミュニケーションおよび報告

特定の法律や規則に基づき、また継続的なコミュニケーションと透明性を確保するため、CCAは法律や担当部局が定める期限に従って、さまざまな政府部門に報告書を毎年提出しています。

P34

年次公開会議

022年3月30日、CCAは年次公開会議(APM)を開催し、最近の活動や計画について報告しました。会議は、英語、フランス語、アメリカ手話(ASL)・ケベック手話(QSL)で全国にライブ配信されました。このイベントの記録映像は、アクセス可能なフォーマットで、イベントの各講演者のスピーチとともに、CCAのウェブサイトで公開されています。

年次報告書

カナダ芸術評議会法に従い、各会計年度終了後に年次報告書をカナダ文化遺産省に提出し、議会に上程しなければなりません。年次報告書は、CCAの財務諸表を含む、会計年度のすべての手続きを提示しています。

情報アクセス法およびプライバシー法

CCAは、情報アクセス法の管理に関する年次報告書とプライバシー法の管理に関する年次報告書を完成させる責任があります。これらの報告書は、議会に上程するためにカナダ文化遺産省に提出されます。

カナダ多文化主義法

CCAは、カナダ多文化主義法の運用に関する年次報告書を完成させる責任を負っています。この報告書は、毎年カナダ文化遺産省に提出されます。

雇用平等法

100人以上の従業員を擁する連邦組織として、CCAはカナダ雇用社会開発省に毎年雇用平等報告書を提出しています。

公用語法

CCAは、公用語法の第4部、第5部、第6部、第7部の実施に責任を負っています。公用語法のパートVIIのセクション41に関する複数年にわたる行動計画をカナダ文化遺産省に提出します。また、CCAは、カナダ文化遺産省に第7部の活動の詳細を説明する年次レビューを提出します。3年ごとに、カナダ文化遺産省および財務局に第4部、第5部、第6部、第7部に関する報告書を提出します。

理事会委員会

理事会委員会は、関心分野への注力、監督、監視をより緊密にすることで、理事会の全体的な効果を高めるものです。委員会の役割、責務、報告要件は、理事会の付則に定義されています。理事会には、4つの常任委員会があります。

P35

執行委員会

執行委員会は、理事会の合間にも、理事会に代わって活動します(ただし、付則、方針、予算、財務諸表、補助金、年次報告書の承認または修正に関連する例外を除く)。理事兼CEOも執行委員会のメンバーですが、議決権はありません。

メンバー:ジェシー・ウェンテ(議長)、マリー・ピエール・ジェルマン(2021年12月17日より副議長)、ベバリー K. フォイ(Beverly K. Foy)(2021年6月5日まで監査・財務委員長)、キム・スペンサー・ネアン(Kim Spencer-Nairn)(2021年6月6日より監査・財務委員長)、シェリル・ヒックマン(ガバナンス・指名委員長)

監査・財務委員会

監査・財務委員会は、CCAの財務実績を監督し、財務報告、管理システム、統合リスク管理プロセス、監査機能の整合性、有効性、正確性を確認します。監査総監室、内部監査人、監査・財務委員会メンバーのみを対象としたカメラセッションを開催しています。

メンバー:ベバリー K. フォイ(2021年6月5日まで議長)、キム・スペンサー・ネアン(2021年6月6日から議長)、デヴィッド・ビネ(David Binet)(2021年4月4日まで)、カール・シュウォニック(Karl Schwonik)およびイングリッド・レオン(2022年1月26日から議長)ジェシー・ウェンテは、取締役会が採択した決議に基づき、付則第6.2条(b)に従い、2021年5月28日から2022年1月26日まで監査・財務委員会の投票権を有する委員を務めました。

ガバナンス・指名委員会

ガバナンス・指名委員会は、コーポレート・ガバナンス、取締役会の業務執行、人事戦略およびその他の関連事項に関する受託責任と監督責任の遂行に関して、取締役会に継続的な検討と勧告を行っています。

メンバー:シェリル・ヒックマン(議長)、デヴィッド・ビネ(2021年4月4日まで)、ベン・ニンド、ガエタン・ヴェルナ(Gaëtane Verna)

投資委員会

投資委員会は、投資に関する理事会方針の推奨、プロのファンドマネージャーの採用、その活動の監視など、カウンシルの投資ポートフォリオを監督し、専門的な助言を提供します。

メンバー:ベバリー K. フォイ(2021年6月5日まで)、デヴィッド・ビネ(2021年4月4日まで)、カール・シュウォニック、キム・スペンサー・ネアン(2021年10月20日から)、イングリッド・レオン(2022年1月26日から)、および外部専門家マイケル・ホワイト(Michael White)(議長)、ポール・ロビアード(Paul Robillard)、キム・シャノン(Kim Shannon)、マーサ・トレジエット(Martha Tredgett)、ヘレン・カーズ(Helen Kearns)、デニス・ラローズ(Denis Larose)、キラム基金代表のブレンダ・イートン(Brenda Eaton)

P36

アドバイザーグループ

ジェニファー・ドルナーは、カナダユネスコ委員会執行委員会の理事会代表を務めています。

ベン・ニンドは、CPAFの理事会代表を務めています。

積極的な情報開示

理事会メンバーおよび上級役員の助成金、寄付金、旅費、接待費に関する情報、1万ドル以上の契約、役職の再分類、情報公開請求完了の概要報告書はすべてウェブサイトに掲載しています。

不正行為の開示

公務員情報保護法の要件に基づく「職場における不正行為の内部開示に関する議会方針」に従い、四半期ごとに職場における不正行為の開示に関する報告を監査・財務委員会に提供しています。2021-22年度は、職場における不正行為の内部開示はありませんでした。

報酬

理事会の報酬は、カナダ芸術評議会法第6条1項に基づき、総督によって決定されます。日当の金額は、枢密院事務局が発行している「王立企業の非常勤知事任命者のための報酬ガイドライン」に基づいて決定されます。

理事会メンバーの報酬は、年間報酬と日当で構成されています。また、旅費の払い戻しを受け取る資格もあります。

年間報酬は日割り計算で支払われます。金額は以下の通り。

議長: \$8,800

副議長: \$4,700

理事: \$4,400

日当とは、理事会およびCCAの業務に費やした時間に基づく、1日当たりの報酬です。金額は以下の通り。

議長: \$375

副議長: \$325

理事: \$325

2021-22年の報酬総額は以下の通り。

理事: \$75,400 (謝礼金総額)

理事兼CEO: \$226,000-\$265,800 (総督による裁定)

経営陣: \$125,900-\$165,700

P37

執行部

2022年3月31日現在、執行委員会は、理事兼CEOのサイモン・ブロールト、戦略・広報・アートエンゲージメント担当ディレクター・ジェネラルのミシェル・シャウラ (Michelle Chawla)、最高財務責任者兼最高セキュリティ責任者のタニア・キングスベリー (Tania Kingsberry)、チーフ・オブ・スタッフ (CoS) 兼コーポレート・セクレタリーのジョアン・ラロック・ポワリエ (Joanne Larocque-Poirier)、最高情報責任者のイアン・ロブシン (Ian Lovsin)、アート助成プログラム担当ディレクター・ジェネラルのキャロリン・ワーレン (Carolyn Warren) から構成されています。

キャロリン・ボワローは、2022年1月31日まで最高財務責任者兼最高セキュリティ責任者を務めていました。

サイモン・ブロールト
理事兼CEO

ミシェル・シャウラ
戦略・広報・アートエンゲージメント担当ディレクター・ジェネラル

タニア・キングスベリー
最高財務責任者兼最高セキュリティ責任者

ジョアン・ラロック・ポワリエ
チーフ・オブ・スタッフ兼コーポレート・セクレタリー

イアン・ロブシン
最高情報責任者

キャロリン・ワーレン
アート助成プログラム担当ディレクター・ジェネラル

P38

理事

2022年3月31日現在、理事会は以下のメンバーで構成されています。

ジェシー・ウェンテ
議長
オンタリオ州トロント

マリー・ピエール・ジェルマン
副議長
ケベック州モントリオール

ジェニファー・ドルナー
ケベック州モントリオール

シェリル・ヒックマン
ニューファンドランド・ラブラドール州セントジョンズ

イングリッド・レオン
ブリティッシュ コロンビア州バンクーバー

ベン・ニンド
ノースウエスト準州イエローナイフ

カール・シュウォニック
アルバータ州カルガリー

キム・スペンサー・ネアン
ブリティッシュ コロンビア州バンクーバー

ガエタン・ヴェルナ
オンタリオ州トロント

P39

理事会・委員会の開催・出席状況(2021年4月1日～2022年3月31日)

	理事会	執行委員会	投資委員会	監査・財務委員会	ガバナンス・指名委員会
総会議数	4	0	4	7	4
ジェシー・ウェンテ	4/4	--	兼務	兼務	兼務
マリー・ピエール・ジェルマン	2/2	--	兼務	兼務	兼務
ジェニファー・ドルナー	3/3	N/A	N/A	N/A	N/A
ペバリー K. フォイ	--	--	2/2	--	N/A
シエリル・ヒックマン	4/4	--	N/A	N/A	4/4
イングリッド・レオン	2/2	--	--	2/2	--
ベン・ニンド	4/4	N/A	N/A	N/A	4/4
カール・シュウォニック	4/4	N/A	4/4	7/7	N/A
キム・スペンサー・ネアン	4/4	N/A	1/1	7/7	N/A
ガエタン・ヴェルナ	4/4	N/A	N/A	N/A	4/4

注:

- 2021年12月17日にマリー・ピエール・ジェルマンが理事会の副議長に任命されました。2021年12月17日に投資委員会、監査・財務委員会、ガバナンス・指名委員会の兼務となりました。
- ジェニファー・ドルナーは、2021年6月5日に理事会メンバーとしての任期が終了し、2021年8月4日から2023年8月3日までの2年間の任期が更新されたため、6月22日の取締役会には出席していません。
- ペバリー K. フォイの理事としての任期は、2021年6月5日に終了しました。
- イングリッド・レオンは、2021年12月13日に理事会に任命されました。2021年1月26日に監査・財務委員会、投資委員会の兼務となりました。
- キム・スペンサー・ネアンは2021年10月20日に投資委員会のメンバーとなりました。

P40

経営陣による検討と分析

P41

ハイライト

COVID-19の大流行は、2021-22年のCCAの決算において、引き続き主要な分野に大きな影響を及ぼしました。最初の影響分野は補正予算で、パンデミック下における芸術およびライブイベント従事者のためのCOVID-19支援金として1億2,100万ドル、芸術セクターおよび公的活動の再開のために2,500万ドル(2022-23年に5,000万ドルを追加予定)を受領しました。これらの補正予算は、既存のプログラムと、「Digital Now」というデジタル芸術コンテンツの開発と共有のための助成金を提供する一回限りのイニシアチブを通じて分配されました。決算へのもう一つの影響は、当評議会のポートフォリオから得られる正味実現投資収益の大幅な増加です。当年度にポートフォリオの資産構成を変更し、主にヘッジファンド部分の売却に関連する2,210万ドルの大幅な利益を実現しました。正味実現投資収益は3,820万ドルで、予算額の1,220万ドルを2,600万ドル超過しています。

CCAは、ここ数年、技術インフラとシステムの近代化に投資し、運営を調整することで、プログラム提供の効率性を維持することができました。

「Software as a Service (SaaS)」と呼ばれるクラウドコンピューティング契約の実施に際して発生する設定・カスタマイズ費用の処理にともなう会計方針を変更したため、財務諸表の比較対象数字を修正しています。詳細については、財務諸表の注記 3に記載されています。

3月31日に終了する各年度の損益計算書の要約			
(単位：千カナダドル)	2022年予算	2022年実績	修正後 実績 2021年
合計収入および議会予算	\$ 494,799	\$ 556,516	\$ 465,374
費用合計	494,776	529,731	445,818
剰余金	\$ 23	\$ 26,785	\$ 17,556

2022年3月31日に終了した年度において、2,680万ドルの営業黒字を計上しています。この黒字は主に、正味実現投資収益が予算投資収益比で2,600万ドル増加したことによるものです。

(単位：千カナダドル)	2022年予算	2022年実績	2021年実績
助成金・寄付金	\$ 418,157	\$ 457,510	\$ 378,092
公貸権プログラム	14,688	15,033	14,807
賞金・賞品	2,448	2,288	1,688
	\$ 435,293	\$ 474,831	\$ 394,587

2022年3月期の助成金、著者への支払い、賞金の経費は4億7,480万ドルで、承認された当初予算と前年の関連経費の両方を上回っています。この大幅な増加は、芸術およびライブイベント従事者のためのCOVID-19支援金として受領した1億2,100万ドル(うち1億1,650万ドルはすでに予算に計上済み)、イベントおよび対面型体験の再開のためのCOVID-19支援金としての2,500万ドルに起因するものであり、COVID-19緊急支援基金として前年度に受領した6,280万ドルと比べても増額しています。

公貸権(PLR)プログラムは、カナダの公共図書館に作品が所蔵されているクリエイターに対して毎年報酬を支払うプログラムです。年間PLR支払総額は、2019-20年以降、約1,500万ドルを維持しています。

また、カナダにおける卓越性と革新性を表彰する賞金や報奨金を230万ドル分配しましたが、これは昨年と比較して60万ドル増加し、パンデミック以前の比較数値に戻りました。

2022年3月31日に終了する会計年度において、総費用の4.4%を占める振替プログラム実施費用は2,310万ドルでした。これは予算額を170万ドル下回りましたが、その主な要因として、専門サービスおよび特別サービスにおいて60万ドルが抑えられたこと、対面型の表彰式が開催されず賞品贈呈費用の50万ドルが抑えられたこと、今年予定されていた一部のコンペが延期されたことによりピアアセッサー委員会の費用40万ドルが抑えられたことなどが挙げられます。振替プログラム提供費用が昨年に比べて180万ドル増加している理由は、給与および従業員手当が90万ドル増加したことが主な要因であり、これは今年度COVID-19の取り組みを目的として、当評議会が政府から追加助成として受領した資金を財源としています。また、当評議会は2021年4月からサービス料金および購読料金を増額することを決定したため、ピアアセッサー費用が80万ドル増額しました。この引き上げ分は、すべてのピアアセッサー委員会がオンラインで開催され、今後もオンラインで開催されると予想されるため、旅費の節約分により補填可能となりました。

2022年3月31日に終了する会計年度において、一般管理費は費用全体の4.8%を占め、2,540万ドルとなりました。予算比390万ドルの増加は、財務諸表の注記3に記載されているとおり、年度中に採択した会計方針の変更により、給与および手当、ならびに専門サービスおよび特別サービス費が370万ドル増加したことが一因となっています。この会計方針の変更にもとない、資産計上された費用は当初の予定より少なくなりました。この費用の増加は、以前に資産計上した資産の資産計上を取りやめた影響により、140万ドルの償却費が減少したことにより一部相殺されました。また、離職率が予想より低かったことや、経営陣への遡及補償(財務省のガイドラインによる)があったことも、給与および手当の支出超過の要因となりました。

一般管理費が前年度より80万ドル増加した理由は、主にクラウドコンピューティングへの継続的な投資によるものですが、給与および従業員手当が減少したことにより相殺されました。

3月31日現在の財政状態の概要

(単位：千カナダドル)	2022年実績	修正後 実績 2021年
金融資産合計	\$ 630,705	\$ 563,810
負債合計	261,312	208,089
純金融資産	369,393	355,721
非金融資産	27,578	28,663
累積剰余金	\$ 396,971	\$ 384,384

2021-22年度の寄付金・特別基金とキラム基金は、2020-21年度のプラス24.5%および24.2%に対し、それぞれ5.3%および5.4%と、プラスの年間リターンを生み出しました。前年度との比較では、投資ポートフォリオは1,520万ドル増加し、2022年3月31日時点の公正価値は4億9,500万ドルとなりました。

ポートフォリオは正味実現投資利益で予算額1,220万ドルを上回る2,600万ドルを提供しました。当評議会の「投資方針および目標に関する声明」に従い、正味実現投資利益の承認予算額は、ポートフォリオの過去3年間の平均時価に3.5%をかけた所定の支出率で計算されています。当評議会の投資会計方針によると、最低でも承認された予算を上回る投資収益は、資本を保全するためにポートフォリオに再投資しなければならないとされています。そのため、本年度は2,400万ドルを営業活動による累積剰余金から超過投資収益準備金に振り替えました。

2021-22年度には、評議会の運営状況やサービス対象セクターが直面するリスクを考慮した上で、2022年1月に理事会に提出した「コーポレートリスクプロファイル」を更新しました。コーポレートリスクプロファイルは、戦略・運営計画および経営行動計画の優先順位付けにおける重要なインプットとして使用されています。

財政状況

金融資産

(単位：千カナダドル)		2022	2021
金融資産	現金同等物	\$ 124,935	\$ 81,065
	売掛金	10,758	2,925
	ポートフォリオ投資	495,012	479,820
金融資産合計		\$ 630,705	\$ 563,810

2022年3月31日現在、金融資産合計は前年度比6,690万ドル増の6億3,070万ドルとなりました。金融資産には、ポートフォリオ投資のほか、現金及び売掛金も含まれます。

現金が4,390万ドル増加したのは、主に、2022年3月下旬に交付予定の補助金実績による助成金、著者支払金および賞金支払額が4,520万ドル増加したためです。

売掛金の前年度比780万ドル増は、2022年3月31日時点で未受領の議会計上分480万ドルが主な要因です。また2021-22年に後払い制に移行したことに伴い、未収配当金収入が190万ドル、従業員給与の未収金が80万ドル増加しました。

2021-22年も金融市場は不安定で、様々な資産分類の結果が多岐にわたっています。カナダ株式(+20.2%)、世界株式(+6.6%)、債券(-4.5%)、不動産(+2.0%)、およびインフラ(+2.5%)となり、ポートフォリオ全体のリターンは5.3%のプラスとなりました。その結果、当評議会の投資ポートフォリオの公正価値は小幅な増加にとどまりました。2022年3月31日現在、投資による公正価値は4億9,500万ドルで、前年度から1,520万ドル増加しました。

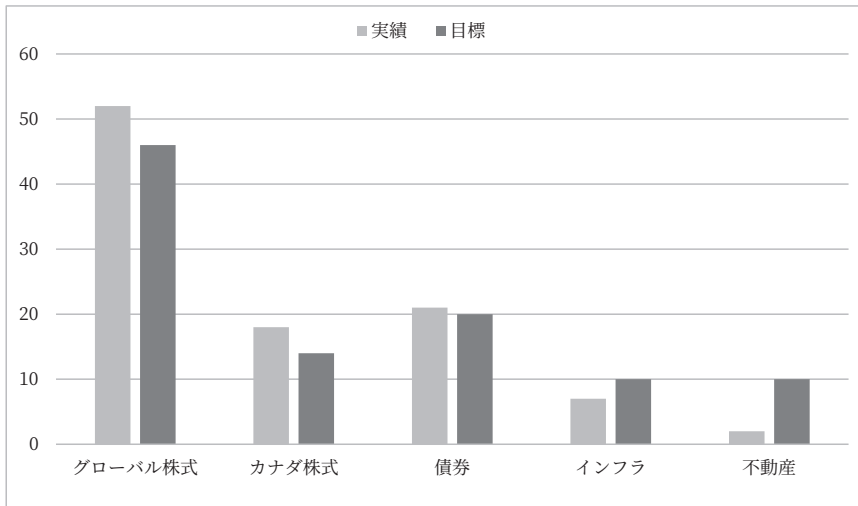
CCAは、専門の投資マネージャーによって管理されているプールド・ファンドのユニットに投資しています。CCAの投資は、「投資方針および目標に関する声明」と「投資信条に関する理事会声明」に則っており、これらは理事会によって承認されています。ポートフォリオの目的は、10年間で少なくとも3.5%の実質収益率を生み出し、寄付金の購買力を維持しながら、議会の予算を補い、キラム基金と特別基金のフェロシップと賞金を支援することです。キラム基金と特別基金は、寄付や遺贈によって受領され、寄付者によって特定の目的に使用することが指定されている寄付金を指しています。キラム基金は、別個の投資ポートフォリオとして管理し、決算報告書で連結決算することが要求されています。特別基金は、CCAの投資ポートフォリオに含まれ、各寄付は、各寄付を受け取った時点の投資ポートフォリオの公正価値に基づき、比例配分されます。

投資委員会は、投資分野と投資対象資産分類の両方での経験を有する独立した専門家によって構成され、ポートフォリオの監督と管理を支援します。CCAの理事2名は投資委員会も兼務しています。さらに、CCAは独立した投資コンサルタントのサービスを利用し、投資委員会の業務を支援しています。

投資委員会は、毎年CCAの投資方針を見直し、必要かつ適切と考えられる場合には、資産構成やポートフォリオ運用構造の多様化、あるいは支出方針の調整(現在は過去3年間の基金の市場価値の平均値の3.5倍と設定)を推奨しています。この年、投資委員会は四半期ごとの会合で、投資マネージャーからの定期的な報告やポートフォリオのパフォーマンスの徹底的な見直しを通じて、方針の実行がポートフォリオに与える影響を評価しました。

以下の表は、ポートフォリオ の実際の比較資産構成と資産構成目標を示しています。

2022年3月31日時点の資産構成

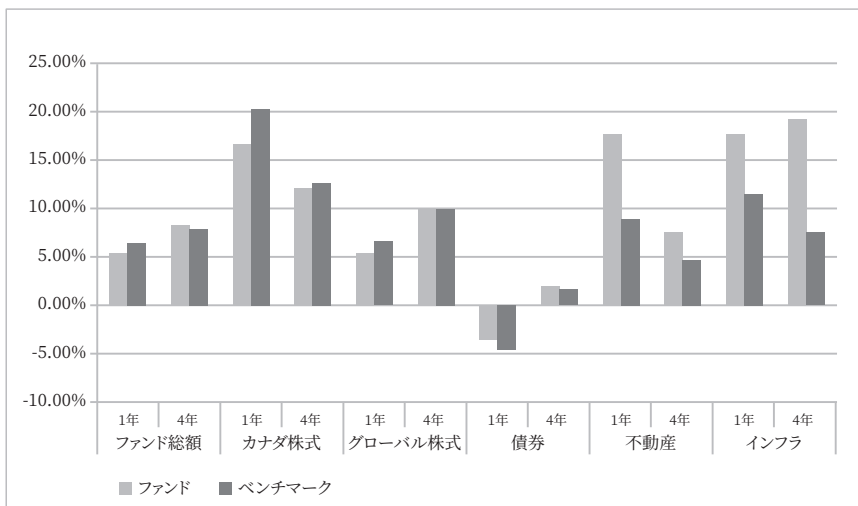


投資委員会と上級管理職は、ポートフォリオ内のリスクレベルを綿密に監視しています。10年間の標準偏差は、2022年3月31日現在、ベンチマークの7.0%に対し、8.2%となっています。

各資産分類に設定された目標は、2021年に行われた効率的フロンティア研究に基づくもので、10年間のローリング期間において最低3.5%の実質リターンを達成することを目的としています。資産構成の主な変更点は、複雑なヘッジファンド投資を中止したこと、金利上昇のリスクを軽減するため債券の配分を引き下げたことです。これらの決定により、不動産とインフラへのベンチマーク配分が増加しましたが、これら2つの資産分類への完全な投資までには、最大で12-24ヶ月かかると考えられます。

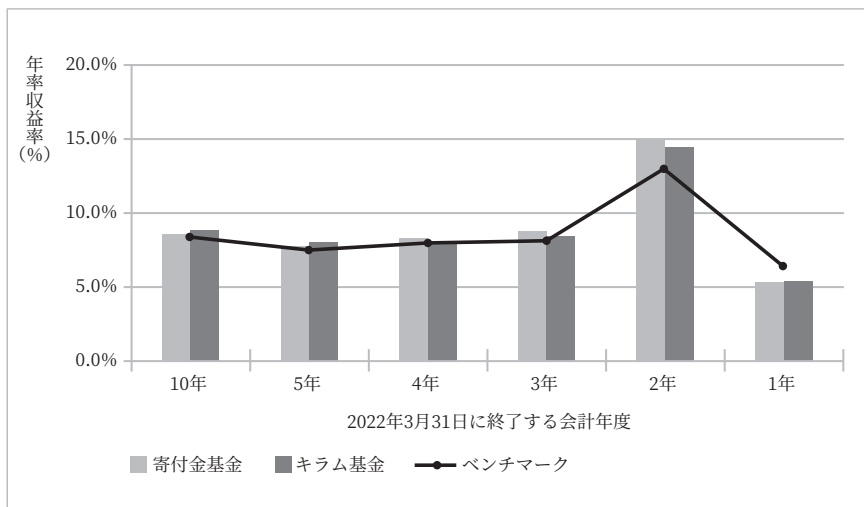
以下のグラフは、2022年3月31日までの1年間と4年間の資産分類すべてのリターンを示しています。

資産分類別の年間収益率



以下のグラフは、ベンチマークリターンに対する、基金・特別基金およびキラム基金の各期間の年率換算ポートフォリオリターンを示しています。ポートフォリオの多様化により、10年間の長期目標である3.5%を上回るパフォーマンスを維持していることが分かります。

年率換算ポートフォリオリターン



P43

負債

2022年3月31日現在、負債総額は2億6,130万カナダドルで、下表のように前年度から5,320万カナダドル増加しました。

(単位：千カナダドル)		2022	2021
負債	助成金、著者支払金および賞金支払額	\$ 164,831	\$ 119,590
	買掛金および未払金	9,145	5,565
	繰延収益	6,168	6,506
	従業員将来給付金	5,351	5,155
	繰延収益-外部制約付拠出金	75,817	71,273
負債合計		\$ 261,312	\$ 208,089

負債総額の主な増加要因は、2020-21年度と比較して、助成金、著者支払金および賞金支払額が4,520万カナダドル増えたことであり、これは前四半期に承認された助成金でありながら2022年3月31日時点で未支払い分があることに直接関係しています。

また、外部制約付拠出金からの繰延収益も450万カナダドル増加しました。この増加は、その一部が外部制約付きであるポートフォリオの市場価値の上昇によるものです。この負債は、外部制約付投資収益および累積利益からなり、資源が特定の目的に使用されるまで繰り延べられています。当初の外部制約付基金の元本である3,760万カナダドルはそのまま維持することが要求されており、累積剰余金に計上されています。

その他の負債には以下のものが含まれます。

- 買掛金および未払金(各サプライヤー/マネージャーによる役務提供に対する支払い、2022年3月に締結した重要なパートナーシップ、および2022年3月31日時点で発生した一部の給与支払い債務)
- オタワ市エルジン郡150番地における賃借料(賃借期間20年で償却)、アートバンクからの繰延賃料、その他特定構想に係る繰延収益。
- 従業員の退職金、従業員および退職者を対象とした退職後給付。

非金融資産

有形資本資産には、オフィス機器およびコンピュータ機器、購入または開発されたコンピューターソフトウェア(ライセンスまたはアクセス権は当評議会に帰属)、リース資産の改良費、新システム導入に関連する仕掛品などが含まれます。2021年3月31日時点の840万カナダドルに対し、7万カナダドルの純減は、主に新システム導入およびITインフラに関連した9万カナダドルの取得によるもので、150万カナダドルの償却費で相殺されます。

アートバンクは、カナダ現代美術の世界最大のコレクション(17,163点)を有し、関心のある公的機関や民間団体に貸与しています。アートバンクのコレクションは、2022年3月31日現在の財政状態計算書上、1,940万カナダドルの原価で計上されたアートバンク資産に表示されています。コレクションの評価額は、2022年3月31日現在、7,280万カナダドルと推定されています。

CCAの「ミュージカル・インストルメンタル・バンク」は、歴史的に重要な24の優れた弦楽器とチェロの弓を所有または管理し、才能ある若い音楽家に3年の期限付きで貸し出しています。楽器は、その資産に関連する未来収益を合理的に見積もることができないため、財政状態計算書には名目価額1,000カナダドルで記載されています。2022年3月31日現在、楽器の評価額および保険価額は4,620カナダドルです。

累積剰余金

累積剰余金は、3月31日現在、以下の要素で構成されています。

(単位：千カナダドル)		2022	修正後 2021年
累積剰余金	寄付金 - 原資	\$ 50,000	\$ 50,000
	基金元本-外部制約付拠出金	37,569	37,569
	超過投資収益準備金	253,445	229,445
	剰余金	24,363	21,578
	営業活動による合計累積剰余金	\$ 365,377	\$ 338,592
	累積再測定利益	31,594	45,792
累積剰余金		\$ 396,971	\$ 384,384

5,000万カナダドルの寄付金(原資)は、CCAの設立を目的として支払われた1957年の当初の政府振替を表しています。当初の外部制約付基金の元本である3,760万カナダドルは、長年にわたり、ほぼ全額を個人から受け取ったその他の基金元本です。これらの価値を累積剰余金に計上することにより、寄付金は別個に表示されるものの、実質的には収益として扱われることになります。

2022年3月31日現在の積立金2億5,340万カナダドルは、CCA設立以来の当初の基金に関連する超過投資利益の合計です。

P44

営業活動

3月31日に終了する各年度の要約損益計算書

(単位：千カナダドル)	2022年予算	2022年実績	修正後 実績 2021年
議会予算	\$ 480,562	\$ 510,389	\$ 428,631
正味実現投資利益	12,245	38,204	30,784
その他の収入	1,992	7,923	3,959
合計収入	494,799	556,616	463,374
振替プログラム	470,408	501,555	418,725
ネットアートバンクの実績	300	84	27
カナダユネスコ委員会 (CCUNESCO)	2,581	2,700	2,446
一般管理費	21,487	25,392	24,620
費用合計	494,776	529,731	445,818
剰余金	\$ 23	\$26,785	\$ 17,556

純財務結果は、均衡予算が2万3千カナダドルの黒字を予想していたのに対し、2,680万カナダドルの黒字となりました。この黒字は主に、正味実現投資収益が予算投資収益比で2,600万カナダドル増加したことによるものです。

その他の収入が前年度に比べて400万カナダドル増加しているのは、COVID-19によりプロジェクトがキャンセルされ、助成金が返還されたことにより480万カナダドル増加したことが主な要因です。

2021-22年度の総支出は5億2,970万カナダドルで、予算より3,500万カナダドル多くなりました。この差額は主に、政府から追加で受領した2,950万カナダドル、芸術セクターの再出発と公共活動の再開のための2,500万カナダドル、芸術およびライブイベント従事者のためのCOVID-19支援金として受領した450万カナダドルにより生じたものです。これらの補正予算は、追加の助成金発行に充てられました。また、助成金の返還で余剰が出た場合は、助成金予算に直接再投資するというのがこれまでの方針であったため、上記のような480万カナダドルの直接流入がありました。

議会予算

CCAは、議会の議決を経た議会予算を主な財源としており、その期間に受け取った議会予算を損益計算書の収益として計上しています。また、カナダ文化遺産省に月次キャッシュフロー分析を提出し、毎月の必要現金額について報告します。現金は金融機関の優遇金利口座に振り込まれCCAはそこから引き出しを行います。2022年3月31日に終了した年度において、本予算および補正予算を通じて受領した充当金は5億1,040万カナダドルで、2020-21年度に比べて8,180万カナダドル増加しました。この資金増加には、芸術セクターへのCOVID-19緊急支援基金の5,820万カナダドル(2020-21年の6,280万カナダドルに対し、2021-22年は1億2,100万カナダドル)、芸術セクターと公共活動の再開のための2,500万カナダドル、ユネスコ遺産緊急基金への拠出の20万カナダドルが追加として含まれています。2020-21年の前年度昇給の遡及調整を含む310万カナダドルに対して、2021-22年は報酬調整のために140万カナダドルが追加されたため、基準値が上昇しました。

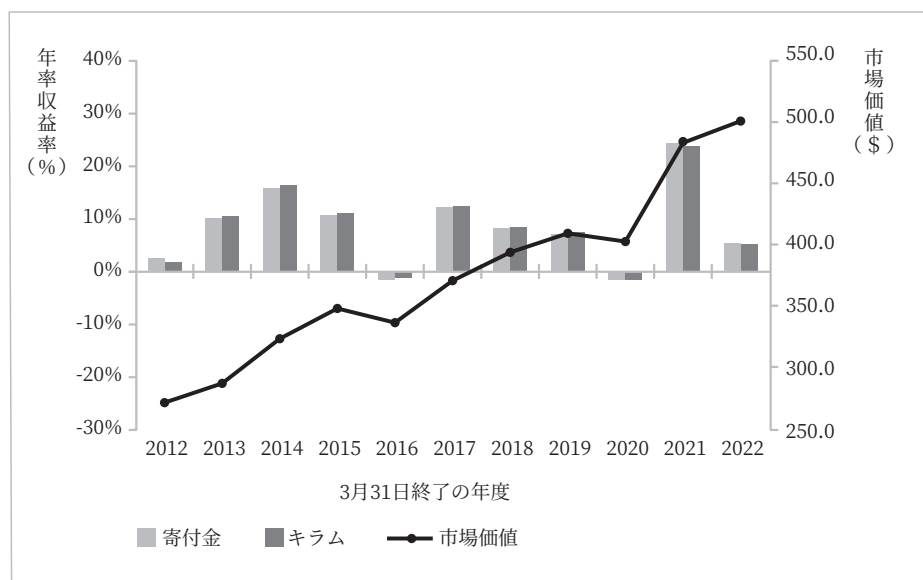
投資収益

当評議会が投資する金融市場は分散されており、2021-22年には、基金・特別基金とキラム基金がそれぞれ5.3%と5.4%の年間プラスリターンを達成しました。

CCAの投資方針では、2021-22年度には、寄付金・特別基金とキラム基金の両方について、過去3年間の平均市場価値の3.5%を上限として、ポートフォリオから現金を引き出すことができると定めています。このアプローチは、リターンと長期的な資本保全のバランスをとる必要性を認識したものです。

下のグラフは、2012年以降の各年度のポートフォリオのリターンと、これらのリターンが年末の時価総額に及ぼした影響を示しています。このグラフは、投資市場のリターンが年々変動することも示しています。CCAは、資金の継続的な成長を確保するために、予算額を超える余剰投資収益を再投資しています。このような積極的な取り組みにより、CCAの投資ポートフォリオにさらなる安定と長期的な成長をもたらすことを目的としています。

ポートフォリオの年間収益率



正味実現投資収益は3,820万カナダドルで、予算額の1,220万カナダドルを2,600万カナダドル超過しています。当年度にポートフォリオの資産構成を変更し、主にオルタナティブ・ヘッジファンド部分の売却に関連する2,210万カナダドルの大幅な利益を実現しました。

その他の収入

その他の収入は、主に過年度に承認された助成金の当年度における取消し、およびパートナーシップ契約に対する拠出金で構成されています。当年度は未使用の助成金を630万カナダドル回収し、予算110万カナダドルより520万カナダドル多く、前年度比で480万カナダドル多く回収しました。これらの収益は、主にパンデミックの影響を受けて助成金が返還されたことによるものです。これらは、パートナーシップからの収入が80万カナダドル減少したことにより相殺されましたが、主に、昨年、「フランクフルト・ブックフェア」のためにカナダ国際関係省およびカナダ文化遺産省から受け取った特別資金によるものです。

P45

プログラム費用

3月31日に終了する年度プログラム費用には、以下の5つの要素が含まれます。

(単位：千カナダドル)	2022年予算	2022年実績	修正後 実績2021年
助成金、著者支払金および賞金支払額	\$ 435,293	\$ 474,831	\$ 394,587
振替プログラムの提供	24,788	23,109	21,338
アート・コミュニティ・サービス	10,327	3,615	2,800
ネットアートバンクの実績	300	84	27
カナダユネスコ委員会 (CCUNESCO)	2,581	2,700	2,446
	\$ 473,289	\$ 504,339	\$ 421,198

2021-22年度、審議会の総経費5億2,970万カナダドルのうち、プログラム経費は95.2%を占め、前年度修正予算比0.7%増となりました。全体として、プログラム経費は前年度より8,310万カナダドル多くなっています。

プログラム費用の大部分は、助成金、著者支払金および賞金支払額に関するもので合計4億7,480万カナダドルとなり、承認された予算を3,950万カナダドル、前年度の関連費用を8,020万カナダドル上回っています。これらの大幅な増加は、芸術およびライブイベント従事者のためのCOVID-19支援金として受領した1億2,100万カナダドル(うち1億1,650万カナダドルはすでに予算に計上済み)、イベントおよび対面型体験の再開のためのCOVID-19支援としての2,500万カナダドルに起因するものであり、COVID-19緊急支援基金として前年度に受領した6,280万カナダドルと比べても増額しています。

新規資金に加えて、補助金返還の増収およびCOVID-19のため当年度予定の提携事業が延期されたことにより生じた合計1,000万カナダドル(前年度は1,260万カナダドル)を補助金経費に再投資しました。

アーティストへの直接支援を増やすという戦略的コミットメントの一環として、CCAは公債権プログラムを通じて、著者に1,500万カナダドルを分配しました。また、カナダにおける卓越性と革新性を表彰する賞金や報奨金を230万カナダドル分配しましたが、これは昨年と比較して60万カナダドル増加しパンデミック以前の比較数値に戻りました。

振替プログラム実施費用は、CCAの助成金、賞金、公債権プログラムの運営にかかる直接費用を表しています。これには、給与、福利厚生、プログラムの審査、旅費、専門サービス、賞のプロモーションが含まれます。これは予算額を170万カナダドル下回りましたが、その主な要因として、専門サービスおよび特別サービスにおいて60万カナダドルが抑えられたこと、対面型の表彰式が開催されず賞品贈呈費用の50万カナダドルが抑えられたこと、今年予定されていた一部のコンペが延期されたことによりピアセッサ委員会の費用40万カナダドルが抑えられたことなどが挙げられます。振替プログラム提供費用が昨年比で180万カナダドル増加している理由は、給与および従業員手当が90万カナダドル増加したことが主な要因であり、これは今年度COVID-19の取り組みを目的として、当評議会が政府から追加助成として受領した資金を財源としています。また、当評議会は2021年4月からサービス料金および購読料金を増額することを決定したため、ピアセッサ費用が80万カナダドル増額しました。この引き上げ分は、すべてのピアセッサ委員会がオンラインで開催され、今後もオンラインで開催されると予想されるため、旅費の節約分により補填可能となりました。

芸術団体へのサービスには、パートナーシップ(芸術を支援するための資金提供)、調査、ワークショップ費用、イベント費用、プログラム評価など、その他の種類の財政支援が含まれます。これらの費用は、前年度より80万カナダドル増加しましたが、予算より670万カナダドル減少したため、助成金へ1,000万カナダドル再投資することができました。今年も再び、COVID-19のために、予定していたイベントや提携事業を延期しなければなりません。

2021-22年度のネットアートバンクの実績は、予算を21万6千カナダドル下回る良好な結果となりました。アートバンクは、パンデミック下であったにもかかわらず、予算を10万5千カナダドル上回る賃料収入を維持することができました。前年度比では4万5千カナダドルの増加となりましたが、COVID-19による制約が続いたことにより、保守・設置料収入は予算を8万3千カナダドル下回りました。管理費は、賃貸オフィスの運営費および維持費が予算を下回ったこと、ならびにCOVID-19の影響によりレンタルサービスおよび設置費用が減少したことにより、予算比で19万1千カナダドル減少しました。

カナダユネスコ委員会(CCUNESCO)の2021-22年度の正味経費は270万カナダドルで、前年度より25万4千カナダドル増加し、予算を11万9千カナダドル上回りました。全体的な経費の増加は、カナダ文化遺産省から受領した20万カナダドルの拠出金に主に起因しています。この経費は、ユネスコ遺産緊急基金を通じて、ウクライナの文化遺産を支援するという目的でユネスコに対し議会計上されたものです。また、当評議会は、パートナーシップ基金を通じて、この取り組みに20万カナダドルの寄付金を投じました。CCUNESCOは、1957年の理事会令によって設立され、カナダにおけるUNESCOの優先事項、ネットワーク、活動を支援し、政府機関と非政府組織の両方から専門家の助言と支援を受けるなど、国内外のUNESCO活動へのカナダの参加を奨励し、カナダ世界問題研究所を含む政府のさまざまなレベルにUNESCOに関する助言を提供しています。

一般管理費

一般管理費には、理事会事務局、広報、コーポレートサービス(経理、人事、情報管理/技術、管理業務が含まれる)の費用が含まれます。明細には、給与、福利厚生、旅費、宿泊費、専門サービス、償却費、その他が含まれます。一般管理費は2,540万カナダドルで、総費用の4.8%を占めるにとどまり、2020-21年度(修正後)の5.5%を下回ったが、それでも予算を390万カナダドル上回りました。390万カナダドルの増加は、財務諸表の注記3に記載されているとおり、年度中に採択した会計方針の変更により、給与および手当、ならびに専門サービスおよび特別サービス費が370万カナダドル増加したことが一因となっています。この会計方針の変更にもない、資産計上された費用は当初の予定より少なくなりました。この費用の増加は、以前に資産計上した資産の資産計上を取りやめた影響により、140万カナダドルの償却費が減少したことにより一部相殺されました。また、離職率が予想より低かったことや、経営陣への遡及補償(財務省のガイドラインによる)があったことも、給与および手当の支出超過の要因となりました。議会は引き続き財政を抑制し、一般管理費に関する効率性を追求します。

再測定利益および損失

2022年3月31日現在のポートフォリオ投資の累積再測定益は3,160万カナダドルでした。これらは、CCAの用途不指定ポートフォリオ投資の公正価値の変動に対する未実現利益の累積額(実現時に損益計算書への再分類を控除後)になります。

P46

リスク管理

効果的なリスク管理は、CCAがその使命を果たす上で基本的なものです。CCAは、リスク管理を全従業員が共有する責務とみなす強力なリスク管理文化を発展させ続けています。企業のリスク管理の第一の目標は、リスクテイク活動の結果が、CCAの計画、戦略、リスク選好度に合致していることを確認することです。

CCAの既存のリスク管理の枠組みは、4つの主要な要素で構成されています。

- リスクガバナンス
- リスク選好
- リスクプロファイル、評価、軽減
- 財務リスクの軽減

リスクガバナンス

CCAのリスクガバナンスは、直接または委員会を通じて、意思決定が戦略およびリスク選好と整合していることを確認するために、理事会により監督されています。理事会は、リスクプロファイルとその関連軽減策、財務実績、投資ポートフォリオの実績など、CCAの主要リスクに関する最新情報を定期的に受け取ります。CCAの執行部は、理事会の直接的な監督のもとでリスク管理に責任を負います。

リスク選好

CCAは慎重なリスクテイクのアプローチに従って活動を管理しています。慎重なリスクとは、よく理解され、適切に軽減された実績の範囲内で、組織の任務をよりよく遂行する能力に貢献すると考えられるリスクと定義しています。リスク選好では、その使命、価値観、組織文化、公的・内的コミットメントの制約の中でリスクを管理しています。

リスクカテゴリー	業務分野	CCAのリスク選好
戦略的リスク	ミッションと評判	カナダの芸術支援に悪影響をおよぼすような事態は避けず。 一般市民からの評判を得て、それを維持するための能力に影響をおよぼしうるリスクを受け入れることに慎重です。 芸術的意欲、創造性、革新性を支援する活動は、すべてのカナダ人の生活を豊かにする活力ある多様な芸術セクターの発展と進化に不可欠であるため、リスクを受容するものとします。
プログラム提供のリスク	助成金の交付プロセス	CCAは、そのステークホルダー（政府、クライアント、一般市民）に対して、助成プログラムの効果的な提供についての説明責任を負っています。そのため、助成金交付プロセスの厳密性と透明性に悪影響を及ぼすような事態は避けなければなりません。 一連の助成プログラムと芸術コミュニティへの支援に関して、芸術環境の変化に柔軟に対応する能力をリスクにさらすようなことはいたしません。
人的資源リスク	内部構造、人材配置	内部構造、人材配置、サービスの改善、および全体的な戦略実行につながる中程度のリスクは受け入れ、継続的な業績向上を目指します。
情報・システムリスク	サービスシステム	継続的な業績向上のため、プログラム提供のプロセスや効率性の改善につながる可能性のあるリスクについては、中程度のリスクを受け入れます。
財務リスク	財務管理、投資	費用対効果にマイナスの影響を与えるような財務上の決定や活動は行いません。 投資に関するリスクの判断は、CCAの「投資信条に関する理事会声明」および「投資方針および目標に関する声明」と一致させます。
コンプライアンスリスク	法律上および企業報告上の要件	CCAは、独立した自己統治能力や法的義務を果たす能力に影響を与える可能性のあるリスクを回避します。

P47

リスクプロファイル

CCAのリスク選好を主要な文脈として、2018年秋に新しいリスク管理のフレームワークが作成されました。CCAは毎年、特定されたリスクを見直し、そのリスクの発生可能性とCCAの運営へおよび潜在的な影響に基づいてランク付けし、運営、財務、評判といった潜在的な側面に焦点を当てます。トップリスク候補とその軽減戦略を列挙したコーポレートリスクプロファイルは、2022年1月に理事会に提出されました。

リスク軽減戦略および関連する活動は、リスクエクスポージャー(リスクの影響度)を減らすために、執行部の担当者によって継続的に監視されています。これらのリスクに関する定期的な最新情報は、監査・財務委員会に提供され、継続的な監視と実施された緩和戦略の有効性を確保しています。

財務リスク

CCAはその業務活動の結果として、様々な財務リスクにさらされており、これには、信用リスク、流動性リスク、市場リスクが含まれます。信用リスクとは、取引先が契約上の義務を履行せず、その結果、CCAに財務上の損失をもたらすリスクを指します。CCAの売掛金の大部分は、期末後90日以内に入金される予定であり、信用リスクは非常に低いものです。流動性リスクとは、CCAがその金融債務を期日通りに支払うことができなくなるリスクです。現在、収入のほとんどを毎月支払われる議会予算によって得ています。その収入は、必要となるまでの間、金融機関の優遇金利口座に投資されます。CCAの投資活動は、主に価格リスク、金利リスク、通貨リスクにさらされています。CCAの投資マネージャーへの指示は、CCAの方針に従って、CCAの市場リスクを日常的に管理することです。市場全体のポジションは、四半期ごとに投資委員会と理事会で監視されています。

P48

財務諸表

P49

財務報告に対する経営陣の責任

添付のカナダ芸術評議会の財務諸表および本年次報告書のすべての情報は、経営陣の責任のもとにあり、理事会によって承認されています。

財務諸表は、カナダの公的セクターの会計基準に従って経営陣が作成したものです。代替の会計方法が存在する場合、経営陣はその状況において最も適切と思われる方法を選択しています。財務諸表には、経験や判断を通じて決定された経営者の最良推定額に基づく金額が含まれています。経営者は、財務諸表がすべての重要な点において公正に公表されることを確実にするために、合理的な根拠をもってそのような金額を決定しています。経営陣は、年次報告書の他の箇所に記載されている財務情報を作成し、それが財務諸表と整合していることを保証します。

CCAは、合理的なコストに見合う質の高い内部会計・管理統制システムを維持しています。このようなシステムは、財務情報が適切で、信頼性が高く、正確であり、組織の資産が適切に会計処理され、保護されているという合理的な保証を提供するよう設計されています。理事会は、CCAの事業および活動の管理について責任を負います。特に、経営陣が財務報告および内部統制に関する責任を果たすことを保証する責任があります。また、CCAの従業員ではないメンバーで構成される監査・財務委員会を通じてこの責任を果たします。

同委員会は、経営陣、内部監査人、カナダ会計検査院と定期的に会合を開いており、その結果を取締役に報告し、財務諸表の承認に際して検討されます。

独立監査人であるカナダ会計検査院は、審議会の財務諸表を監査し、それに関する報告書を発行する責任を負っています。

2022年6月29日

サイモン・ブロールト、O.C., O.Q., FCPA, FCGA
取締役兼最高経営責任者

タニア・キングスベリー、CPA, CA
最高財務責任者

P50

カナダ会計検査院

独立監査人の報告書

カナダ芸術評議会およびカナダ文化遺産省殿
財務諸表の監査に関する報告書

監査意見

我々は、カナダ芸術評議会(以下、評議会)の財務諸表を監査した。この財務諸表は、2022年3月31日現在の財政状態計算書、同日終了年度の損益計算書、再測定損益計算書、正味金融資産増減計算書、キャッシュフロー計算書、および重要な会計方針の概要を含む財務諸表に対する注記から構成されている。

我々の意見では、添付の財務諸表は、2022年3月31日現在の財政状態、同日をもって終了した事業年度の経営成績、再測定損益、純金融資産の変動及びキャッシュフローを、カナダの公共部門の会計基準に従って、すべての重要な点において公正に表示しているものと認める。

監査意見の表明の根拠

我々は、カナダで一般に公正妥当と認められた監査の基準に準拠して監査を行った。これらの基準における我々の責任は、我々の報告書の「財務諸表監査に対する監査人の責任」の項に詳しく述べられている。我々は、カナダにおける我々の財務諸表監査に関連する倫理的要件に従い、CCAからは独立しており、これらの要件に従い、その他の倫理的責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の情報

その他の情報については、経営者がその責任を負っている。その他の情報は、年次報告書に含まれる情報から構成されているが、財務諸表およびその監査報告書は含まれていない。

財務諸表に対する我々の意見はその他の情報を対象としておらず、我々はそれに対していかなる保証結論も表明しない。

財務諸表の監査に関連して、我々の責任は、その他の情報を読み、その際に、その他の情報が財務諸表または監査で得た我々の知識と重要な矛盾がないか、あるいは重要な誤謬があるかどうかを検討することである。実施した作業に基づいて、この他の情報に重要な虚偽表示があると結論付けた場合、その事実を報告することが要求される。この点に関して、当監査法人は何ら報告する必要性はない。

P51

財務諸表に対する経営者及び監査役等の責任

経営者は、カナダの公共部門の会計基準に従った財務諸表の作成と公正な表示、及び不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表の作成を可能にするために経営者が必要と判断した内部統制に対して責任を負っている。

財務諸表の作成に当たって、経営陣は、経営陣が議事を清算する意向を持つか、業務を停止するか、またはそうする以外に現実的な選択肢がない場合を除き、継続企業として継続できる能力を評価し、継続企業に関する事項を必要に応じて開示し、継続企業原則を使用する責任がある。

ガバナンスを担う者は、CCAの財務報告プロセスを監督する責任を負っている。

財務諸表の監査に関する監査人の責任

我々の目的は、不正又は誤謬によるかどうかにかかわらず、財務諸表に全体として重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得ること、及び我々の意見を含む監査報告書を発行することである。合理的な保証とは、高いレベルの保証であるが、カナダで一般に公正妥当と認められた監査の基準に準拠して実施された監査が、重要な虚偽表示が存在する場合に必ず発見できることを保証するものではない。虚偽表示は、不正又は誤謬から生じる可能性があり、個別又は全体として、これらの財務諸表に基づいて行われる利用者の経済的意思決定に影響を及ぼすと合理的に予想される場合には、重要であると判断される。

カナダで一般に公正妥当と認められた基準に準拠し、当監査法人は、専門的な判断を以って、監査の期間中、職業的懐疑心を持続させるとともに、当該基準に従った監査を行った。また、我々は以下を実践するものとする。

- 不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクを識別し、評価し、それらのリスクに対応する監査手続を立案し、実施し、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を取得する。不正行為には、共謀、偽造、意図的な省略、虚偽表示、内部統制の無効化などが含まれるため、不正による重要な虚偽表示を発見できないリスクは、過誤によるものよりも高くなる。
- 状況に応じて適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を理解するが、審議会の内部統制の有効性について意見を表明することを目的としない。
- 経営者が採用した会計方針及び経営者が行った会計上の見積り並びに関連する開示の適正性を評価する。
- 経営者が継続企業を前提として会計処理を行うことの適切性、及び入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関する重要な不確実性が存在するか否かについて結論を下す。重要な不確実性が存在すると結論づけた場合、監査報告書において、財務諸表における関連する開示に注意を喚起し、その開示が不十分な場合には、意見を修正することが要求されている。当監査法人の結論は、当監査法人の監査報告書日までに入手した監査証拠に基づくものである。しかし、将来の事象や状況により、CCAは継続企業の前提（ゴーイングコンサーン）を失う可能性がある。

P52

- 開示内容を含む財務諸表の全体的な表示、構造及び内容、並びに財務諸表が公正な表示を実現する方法で基礎となる取引及び事象を表しているかどうかを評価する。

我々は、計画した監査の範囲および時期、監査中に識別した内部統制の重要な不備を含む重要な監査結果などについて、監査役等と意思疎通を図る。

特定権限の遵守に関する報告書**監査意見**

財務諸表の監査に関連して、我々は、通知を受けたカナダ芸術評議会の取引が特定権限を遵守しているかどうかを監査した。準拠を監査する際の特定権限は、財務管理法および規則の第X部、カナダ芸術評議会法およびカナダ芸術評議会の付則の該当する規定である。

我々の意見では、財務諸表の監査中に我々の知るところとなったカナダ芸術評議会の取引は、すべての重要な点において、上記の特定権限を遵守している。さらに、財務行政法の要求に従い、我々の意見では、カナダ公共部門会計基準における会計原則が、財務諸表の注記3に説明されている有形固定資産の会計処理方法の変更にも適用された後、前年度のものと同様に適用されていることを報告する。

特定権限の遵守に関する経営者の責任

経営者は、カナダ芸術評議会が上記の特定権限を遵守すること、およびカナダ芸術評議会が特定権限を遵守するために必要であると経営者が判断する内部統制について責任を有する。

特定権限の遵守の監査に関する監査人の責任

我々の監査責任は、財務諸表の監査中に我々の知ることとなった取引が、上記の特定当権限を遵守しているかどうかについて、監査意見を提供するための手続を計画し実施することを含む。

ドゥシャン・ドゥヴニャク(Dusan Duvnjak)、CPA, CMA

カナダ会計検査院代表

オタワ(カナダ)

2022年6月29日

P53

財政状態計算書

3月31日現在 (単位:千カナダドル)	2022	修正後(注3) 2021
金融資産		
現金・預金および現金同等物	\$ 124,935	\$ 81,065
売掛金	10,758	2,925
ポートフォリオ投資(注4)	495,012	479,820
金融資産合計	630,715	563,810
負債		
助成金、著者支払金および賞金支払額	164,831	119,590
買掛金および未払金	9,145	5,565
繰延収益	6,168	6,506
従業員将来給付金(注6)	5,351	5,155
繰延収益-外部制約付拠出金(注7)	75,817	71,273
負債合計	261,312	208,089
純金融資産	\$ 369,393	\$355,721
非金融資産		
有形固定資産(注8)	7,738	8,422
アートバンク資産(注9)	19,363	19,466
楽器(注10)	1	1
前払費用	476	774
合計非金融資産	27,578	28,663
累積剰余金(注11)	\$ 396,971	\$ 384,384
累積剰余金の内訳:		
営業利益からの累積剰余金	365,377	338,592
累積再測定利益	31,594	45,792
累積剰余金	\$ 396,971	\$ 384,384

契約上の義務およびコミットメント(注16)

添付の注記および明細書は、計算書類と不可分な部分を構成しています。

理事会にて承認

ジェシー・ウェンテ
議長

マリー・ピエール・ジェルマン
副議長

P54

損益計算書

3月31日終了年度（単位：千カナダドル）		2022年予算	2022年実績	修正後（注3）実績 2021年
収入	正味実現投資利益（注12）	\$ 12,245	\$ 38,204	\$ 30,784
	その他の収入	1,992	7,923	3,959
	総収入	14,237	46,127	34,743
経費	振替プログラム			
	助成金、著者支払金および賞金支払額（付表I）	435,293	474,831	394,587
	振替プログラム提供（付表II）	24,788	23,109	21,338
	アート・コミュニティ・サービス（付表III）	10,327	3,615	2,800
	総支出	470,408	501,555	418,725
ネットアートバンクの実績（注13）		300	84	27
カナダユネスコ委員会（CCUNESCO）（注14）		2,581	2,700	2,446
一般管理費（付表II）		21,487	25,392	24,620
費用合計		494,776	529,731	445,818
議会予算交付前の営業赤字		(480,539)	(483,604)	(411,075)
議会予算		480,562	510,389	428,631
営業利益からの剰余金		23	26,785	17,556
営業利益からの累積剰余金（年首）		343,248	338,592	321,036
営業利益からの累積剰余金（年末）		\$ 343,271	\$ 365,377	\$ 338,592

再測定損益計算書

3月31日終了年度（単位：千カナダドル）	2022	2021
累積再測定利益（損失）（年首）	\$ 45,792	\$ (32)
以下に帰属する未実現利益： ポートフォリオ投資	347	60,724
損益計算書に組み換えられた金額： ポートフォリオ投資	(14,545)	(14,900)
該当年度の再測定純利益（損失）	(14,198)	45,824
累積再測定利益（期末）	\$ 31,594	\$ 45,792

P55

正味金融資産増減計算書

3月31日終了年度 (単位：千カナダドル)	2022年予算	2022年実績	修正後(注3)実績 2021年
営業利益からの剰余金	\$ 23	\$ 26785	\$ 17,556
有形固定資産の取得(注8)	(6,802)	(884)	(938)
有形固定資産の評価損および除却損	—	34	23
有形固定資産の償却費(注8)	3,080	1,534	1,507
アートバンク資産の取得(注9)	—	(37)	(1)
アートバンク資産の売却・寄付(注8)	—	140	—
	(3,722)	787	591
前払費用の取得	—	(708)	(798)
前払費用の使用	—	1,006	772
	—	298	(26)
再測定純利益(損失)	—	(14,198)	45,824
純金融資産の増加(減少)額	(3,699)	13,672	63,945
純金融資産(期首)	355,721	355,721	291,776
純金融資産(期末)	\$ 352,022	\$ 369,393	\$ 355,721

キャッシュフロー計算書

3月31日終了年度 (単位: 千カナダドル)		2022年	修正後 (注3) 2021年
営業取引	剰余金	\$ 26,785	\$ 17,556
	ポートフォリオ投資の売却益 (注12)	(22,083)	(18,332)
	配当金およびその他の分配収益-再投資 (注12)	(19,177)	(11,559)
	有形固定資産の償却費 (注8)	1,534	1,507
	有形固定資産の評価損および除却損	34	23
	アートバンク資産の売却・寄付(注8)	140	—
	前払費用の減少 (増加) 額	298	(26)
	従業員将来給付金の増加	196	815
	投資収益から、「繰延収益-外部制約付拠出金」に振り替えられた収益 (注7)	10,077	7,705
	その他の非現金項目の純増減 (注15)	40,834	62,288
	営業活動から得た現金・預金および現金同等物	38,638	59,977
資本取引	有形固定資産の取得 (注8)	(1,149)	(983)
	アートバンク資産の取得 (注9)	(37)	(1)
	資本活動による現金・預金および現金同等物	(1,186)	(984)
投資取引	ポートフォリオ投資の取得	(83,735)	(152,859)
	ポートフォリオ投資の売却	89,216	152,016
	投資活動から得た (使用した) 現金・預金および現金同等物	5,481	(843)
	現金・預金および現金同等物純増加額	42,933	58,150
	現金・預金および現金同等物期首残高	82,002	23,852
	現金・預金および現金同等物期末残高	124,935	82,002
内訳	現金・預金および現金同等物	124,935	81,065
	ポートフォリオ投資に含まれる投資目的で保有する現金・預金および現金同等物		937
		\$ 124,935	\$ 82,002

財務諸表に関する注記事項

2022年3月31日

1. 権限、任務、活動

1957年にカナダ芸術評議会法によって設立され、その後2001年にカナダ芸術評議会法法案C-40によって改正されたCCAは、女王陛下の代理人ではなく、所得税法上の登録慈善団体とみなされます。財政管理法第85条1項1号により、CCAは、第I部の第89条8項から第89条92項、第II部の第105条2項、第113条1項および第119条、第III部の第131条から第148条、第IV部の第154条1項を除き、この法律の第X部の第I部から第IV部の適用を除外されます。CCAは、芸術の研究および鑑賞、ならびに芸術作品の制作を育成し促進することを目的とする王立企業です。

主にカナダのプロのアーティストと芸術団体への助成金プログラムを通じてその目的を達成しています。また、プログラムを提供するために管理費とサービス費を負担しています。振替プログラムの提供費用は、プログラム実施にかかる直接的な費用です。アート・コミュニティ・サービス費用は、カウンシルの使命を果たすために、助成金以外の活動で発生する費用です。一般管理費は、企業管理、コミュニケーション、人事、情報管理、財務、宿泊施設、償却に関連する費用を表しています。

カナダユネスコ委員会(CCUNESCO)は、1957年の理事会令に基づき、理事会により設立されました。CCUNESCOは、教育、自然科学、社会科学、文化、コミュニケーション、情報といったユネスコが委任する分野にカナダ人の参加を促すため、政府や市民社会のフォーラムとして機能しています。CCUNESCOの事務局は理事会が提供し、事務局長が長官兼最高経営責任者の直属として指揮を執っています。

2. 重要な会計方針

会計基準

CCAは「その他の政府機関」である。この財務諸表は、カナダ公認会計士協会(CPA)が公布したカナダ公共部門会計基準(PSAS)に準拠して作成されたものです。

CCAの重要な会計方針は以下の通りです。

金融商品

すべての金融商品は、当初、公正価値で測定されます。次の表は、金融商品資産と金融負債を特定し、それらが財政状態計算書においてどのように事後評価されるかを示しています。

金融資産または金融負債	事後測定
売掛金	償却費
ポートフォリオ投資	公正価値
助成金、著者支払金および賞金支払額	償却費
買掛金および未払金	償却費

ポートフォリオ投資

ポートフォリオ投資の公正価値の未実現損益は、「繰延収益-外部制約付拠出金」で負債として認識される使途指定付部分を除き、再測定損益計算書で認識されています。実現後は、再測定損益計算書で以前に認識した累積利得または損失は、その年の平均原価ベースで正味実現投資収益に計上されます。外部制約付拠出金にかかる実現損益は、外部制約付拠出金の会計方針に従って認識されています。ポートフォリオ投資の購入および売却は、取引日に計上されています。管理費は発生した年度に費用として計上しています。

投資目的で保有する現金は、財政状態計算書上、ポートフォリオ投資に含まれ、キャッシュフロー計算書上でも別個の項目として表示されます。

一時的でないと考えられる公正価値の下落は減損として認識され、再測定損益計算書から除外され、損益計算書上では正味実現投資収益に計上されます。

有形固定資産

リース資産の改良費、オフィス機器およびコンピュータ機器、ならびにコンピューターソフトウェアは、取得原価から償却累計額を控除して計上しています。

償却費は、当該資産の見積耐用年数にわたり、以下のとおり定額法で計算しています。

オフィス機器	10年
コンピュータ機器	4年
コンピューターソフトウェア	7年
リース資産の改良費	賃貸残存期間

耐用年数、残存価額および減価償却方法の見積りは、資本資産に関する方針において決定され、定期的に見直され、見積りの変更の影響は将来にわたって計上されます。

仕掛品は、未完成で使用されていない資本プロジェクトに現在までに発生した費用、またはシステム導入においては、会計期間末時点でシステムが稼動していない場合に発生する費用を表しています。仕掛品のプロジェクトは、使用または生産が開始されるまで償却されません。

クラウドコンピューティング契約

「Software as a Service (SaaS)」と呼ばれるクラウドコンピューティング契約とは、クラウドプロバイダーのアプリケーションソフトウェアにアクセスする権利を、その契約期間中にCCAに対して提供するサービス契約のことを指します。通常、評議会はこれらのサービスの結果としてコンピューターソフトウェア資産を受け取らず、関連費用は営業費用として処理されます。

ある限定された状況、つまり当評議会がその基盤となるソフトウェアコードの知的財産を管理している場合、クラウドコンピューティング契約を実施するための設定やカスタマイズにかかる費用は、有形固定資産の定義と認識基準に一致するものとします。これらの費用は、コンピューターソフトウェア資産として処理されます。

それ以外の場合、その費用はサービスを受領した時点で損益計算書に費用として計上されます。

アートバンク資産

アートバンクの資産は、取得時に購入原価または寄贈品の第三者による評価額に額、額装費、台紙代、送料を加えた金額で計上されています。資産の取得価額から見積残存価額を差し引いた額が鑑定価額を上回る場合は、見積耐用年数(50年)にわたり償却されます。

楽器

文化的・歴史的価値のある楽器は、その資産に関連する将来の便益を合理的に見積もることができないため、財政状態計算書上、名目的な価値で計上されています。

従業員将来給付金

i) 年金給付

CCAのほぼすべての職員は、カナダ政府が出資し、法律によって設立された拠出型の確定給付制度である公務員年金制度(以下「制度」)に加入しており、従業員とCCAの両方が当期勤務費用を賄うために拠出する必要があります。現在施行されている法律に従い、CCAは、過去の勤務やプランの積立不足に関して、さらに拠出金を支払う法的または推定的な義務を負いません。従って、拠出金は従業員が勤務を開始した年度に費用として認識され、審議会の年金債務総額に相当します。

P57

財務諸表に関する注記事項(続き)

2022年3月31日

ii) 解雇手当

2012年度は、労働契約および雇用条件に基づき、解雇手当を打ち切ることが決定されました。2012年6月30日までに退職する予定の従業員に対する解雇手当債務で未払いとなっているものは、年末に数理計算上の損益ならびに給与の調整を行います。

iii) 退職者給付

CCAは、現職及び退職者に対し、延長医療保険及び歯科医療保険を提供している。退職者は延長医療保険料の50%、歯科医療保険料の100%を負担しています。CCAは、従業員がこれらの給付を受けるために必要なサービスを提供することにより、その義務を発生させます。従業員が獲得するこれらの給付の費用は、発生給付評価方式(予測単位積増方式)を用いて見積もられています。

未払給付債務に関する数理計算上の差異は、実績と予想との差異および未払給付債務の決定に用いられた数理計算上の仮定の変更により発生します。数理計算上の差異は、現役従業員の平均残存勤務期間にわたって償却されます。

繰延収益-外部制約付拠出金

外部制約付収入は、その資源が指定された目的に使用された年度に営業損益計算書において収益として認識されます。この基準に合致する前に受領した元本以外の外部用途指定による流入は、その資源が指定された目的に使用されるまで負債として計上されています。

基金元本-外部制約付拠出金

外部制約付拠出金は、維持が義務付けられている寄付金およびCCAが受領した外部制約付寄付から構成されます。これらは、「営業利益からの累積剰余金」に計上されています。

超過投資収益準備金

この準備金は、1957年のCCA設立以来の超過投資収益の合計であり、営業累積剰余金の中の独立した内部留保として表示されています。純投資収益が純予算投資収益を超過する年度には、剰余金から超過投資収益準備金に振り替えることができます。純投資収益が予算純投資収益額を下回る年度には、超過投資収益準備金から営業利益剰余金に振り替えることができます。これらの振替は理事会により承認されています。

収益認識

i) 議会予算

議会予算は政府振替とみなされ、議会で承認された年度に収益として認識されます。特定のプロジェクトのために受領した議会予算は、規定および状況により負債の定義を満たす義務が発生した時点で繰り延べられます。その後、その義務がなくなった時点で損益計算書に計上されます。

ii) 制約付および制約なし拠出金

CCAは、寄付者によって特定の目的のために外部から制限された寄付を受け取っています。

永続的に保有される外部制約付拠出金は、受領した年度の収益として認識しています。永続的に保有されない外部制約付拠出金、外部制約付投資収益、外部制約付投資の実現・未実現損益は、資源が特定の目的に使用されるまで負債として計上され、その時点で収益として認識されます。

制約なし拠出金については、金額を合理的に見積もることができ、かつ、その回収が合理的に保証されている場合には、受領した年度、またはその資金が委託された年度にその他の収益として認識しています。

現物出資は、主にアートバンク資産に対する寄付であり、受領時に非金融資産として評価額で計上し、ネットアートバンクの業績で収益として計上しています。

iii) アートバンクレンタル収入

アートバンクの資産から発生するレンタル収入は、サービスが提供された年度に認識されます。これらは損益計算書上、アートバンクの純営業成績に含まれています。

iv) その他の収入

その他の収入は、主に過年度に承認された助成金の当年度における取消し、およびパートナーシップ契約に対する拠出金で構成されています。

v) 外貨換算

外貨建金銭債権債務は、財政状態計算書日現在有効な為替レートでカナダドルに換算しています。収益および費用項目は、年間を通じて有効な為替レートで換算しています。未実現為替差損益は、「繰延収益-外部制約付拠出金」の項目で負債として認識されている使途指定部分を除き、再測定損失計算書で認識されています。実現した場合、累積損益は損益計算書上、正味実現投資収益として認識されます。

助成金、著者支払金および賞金支払額

助成金、著者への支払いおよび賞金は政府振替とみなされています。これらは、予算が組まれ、理事会により承認され、歳出法を通じて支払いの権限が与えられ、申請者に結果が通知された年度に費用として計上されます。

オペレーティング・リース

CCAは、事務施設についてオペレーティング・リースを締結しており、リース期間にわたって定額法で計上しています。リース誘因は、リース期間にわたって定額法で事務所経費の減額として計上されます。

測定の不確実性

カナダPSASに準拠した財務諸表の作成にあたっては、財務諸表日における資産および負債の報告金額、ならびに報告年度中の収益および費用の報告金額に影響を与える見積りおよび仮定を行うことが要求されます。従業員給付債務、有形固定資産の見積耐用年数、アートバンク資産の残存価値および評価額、金融商品の公正価値は、見積りが使用される最も重要な項目です。

ポートフォリオ投資に関しては、測定の不確実性のレベルは、注5に記載されている公正価値ヒエラルキーにおける金融商品の分類に基づいて変化します。観察不能なインプットを用いて測定されるレベル3金融商品の固有の性質により、測定の不確実性のレベルは大きくなっています。

実際の結果は見積りと異なる可能性があります。

P58

財務諸表に関する注記事項(続き)

2022年3月31日

事業体間取引

事業体間取引とは、共通に支配している事業体間の取引をいいます。事業体間取引は、事業再編を除き、総額で計上され、以下を除き帳簿価額で測定されます。

- i) 事業体間取引は、事業体が独立企業間取引と同様の条件で行われた場合、または提供された費用が回収された場合、関連当事者間で設定され合意された対価の額である交換価値で測定されます。
- ii) 共通管理下の事業体間において無償で受領した財貨またはサービスは計上されません。

その他の関連当事者との取引

企業間取引以外の関連当事者間取引は、取引金額で計上されています。

予算

理事会により承認された予算額は、比較のために記載されています。

3. 会計方針の変更

評議会は、公共部門会計(PSA)の協議グループからのクラウドコンピューティング契約の会計処理に関する明確化、および2019年と2021年の国際財務報告解釈指針委員会(International Financial Reporting Interpretations Committee、以降IFRIC)の議題決定を含む「一般に認められた会計原則(GAAP)」(Generally Accepted Accounting Principles)の二次資料からのガイダンスを受けて、クラウドコンピューティング契約に関わる設定・カスタマイズ費用の会計方針を変更しました。

注記2に詳述されているように、クラウドコンピューティング契約に関する会計方針の改訂により、コンピューターソフトウェアに対する管理を実証できない場合、関連する費用は費用化されることが示されています。以前は、これらの費用は資産計上されていました。

この会計方針の変更は遡及して適用されており、過去の比較対象期間は修正再表示されています。会計方針の変更が過去に報告された財務結果に与える最も重要な影響は、以下のとおりです。

- 財政状態計算書では、有形固定資産及び累積剰余金が465万6千ドル減少しています。
- 損益計算書では、期首において、振替支払プログラムの提供費用および一般管理費がそれぞれ13万3千ドル、209万1千ドル増加し、剰余金が222万4千ドルならびに累積剰余金が243万2千ドル減少しています。
- キャッシュフロー計算書では、営業活動から得た現金・預金および現金同等物、および資本活動による現金・預金および現金同等物は269万2千ドル減少しました。
- 財務諸表の注記8では、有形固定資産の期首取得価額530万ドルおよび償却累計額64万4千ドルが減少。
- 付表IIにおいて、専門サービスおよび特別サービス費269万2千ドルおよび償却費46万8千ドルが増加。

関連する場合、財務諸表上の比較情報は修正再表示されています。

4. ポートフォリオ投資

		2022					2021		
(単位：千カナダドル)		費用	未実現損失	未実現利益	公正価値		費用	公正価値	
		\$	\$	\$	\$	%	\$	\$	%
カナダ カウ ンシル 寄付金 および 特別 基金	プールド・ファンド								
	カナダ株式	56,039	—	18,525	74,564	18	43,853	56,904	14
	グローバル株式	198,221	6,287	21,637	213,571	52	163,732	182,055	46
	債券	91,405	5,877	—	85,528	21	87,460	87,523	22
	代替	—	—	—	—	—	20,630	33,986	9
	不動産	7,074	—	1,635	8,709	2	7,557	8,640	2
	インフラ	23,495	456	5,500	28,539	7	22,708	26,943	7
	現金・預金および現金同等物	—	—	—	—	—	937	937	—
	376,234	12,620	47,297	410,911	100	346,877	396,988	100	
キ ラ ム 基 金	プールド・ファンド								
	カナダ株式	12,312	—	2,833	15,145	18	9,419	11,205	14
	グローバル株式	41,970	1,298	4,236	44,908	53	34,500	38,183	46
	債券	18,409	1,156	—	17,253	21	17,790	17,795	21
	代替	—	—	—	—	—	5,298	8,720	10
	不動産	1,818	—	416	2,234	3	1,939	2,213	3
	インフラ	3,772	114	903	4,561	5	3,769	4,716	6
		78,281	2,568	8,388	84,101	100	72,715	82,832	100
ポートフォリオ投資合計		454,515	15,188	55,685	495,012		419,592	479,820	

P59

財務諸表に関する注記事項(続き)

2022年3月31日

投資に関する未実現損益は、主に市場価格、為替変動、または一部の投資の景気循環の初期段階によるものです。CCAは毎年、各投資商品特定の基準に照らして評価し、調整後原価が回収できない可能性があり、減損していることを示す客観的証拠があるかどうかを判断しています。2022年3月31日現在、CCAはこれらの投資商品について一時的でない減損はないと判断しています。

CCAは、カナダカウンシル寄付金および特別基金とキラム基金の2つの独立したポートフォリオを管理しています。キラム夫妻は、寄付金を別個に投資することを希望していました。キラム基金以外の他の全ての外部制約付拠出金は、カナダカウンシル基金および特別基金に統合され、同基金の8% (2021年-8%)、公正価値の合計は3,291万4千ドル (2021年-3,179万9千ドル) です。キラム基金を含む外部制約付投資の公正価値合計は1億1,701万5千ドル (2021年-1億1,463万1千ドル) です。

外部制約付拠出金の取引はすべて、当初はCCAの一般銀行口座で支払われ、または受領されるため、一時的な資金間残高が発生します。2022年3月31日現在、特別基金が評議会に支払うべき外部制約付拠出金の基金間残高は、396万6千ドル (2021年-408万3千ドル)、キラム基金が支払うべき残高は239万2千ドル (2021年-260万6千ドル) です。

カナダカウンシル寄付金および特別基金ならびにキラム基金の長期的な目的は、寄付金の購買力を維持しつつ、様々なプログラムの管理コストを補う長期的な実質リターンを生み出すことです。

CCAは、株式、債券、プールド・ファンドのユニット、2つの不動産ファンドと6つのインフラストラクチャーファンドのリミテッド・パートナーシップ・ユニットに投資しています。当年度は、オルタナティブ・プールド・ファンドへの投資を売却しました。許容・禁止される投資、資産構成、および最大保有数量の制限は、リスクを軽減するために取締役会が承認した投資方針によって管理されています。すべての投資は、専門の投資マネージャーによって管理されています。

理事会が承認した「投資方針と目標」に従い、以下のベンチマークでポートフォリオを管理しています。このベンチマークは、資産クラスの配分を最小から最大まで変化させることができるようになっています。

資産クラス	市場価値	最小値	ベンチマーク	最大値
カナダ株式	18%	10%	14%	20%
グローバル株式	52%	40%	46%	55%
債券	21%	15%	20%	30%
代替	0%	0%	0%	10%
不動産	2%	0%	10%	15%
インフラ	7%	0%	10%	15%
マネーマーケット/現金	0%	0%	0%	10%

金融市場あるいは現金資産クラスの金額は、将来の投資のため、あるいは既に承認され署名されたコミットメントに対するキャピタルコールの資金として使用されています。

株式プールド・ファンドへの投資は、6つのプールド・ファンドのユニットで構成されており、2つのカナダのファンドと世界の株式市場に投資している4つのファンドがあります。カナダ株式は、スタンダード・アンド・プアーズ・トロント証券取引所 (S&P/TSX) インデックスのリターンと比較して評価されます。世界の株式は、モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル (MSCI) オール・カントリー・ワールド・インデックスのリターンに照らして評価されます。債券プールド・ファンドへの投資は、債券、モーゲージ、エマージング債券、その他の債券の組み合わせで構成されています。債券ファンドは、FTSEカナダユニバースボンドインデックスのリターンと比較して評価されます。当年度は、世界の資産分類に分散されたポジションを持つヘッジファンドのユニットで構成されているオルタナティブ・プールド・ファンドへの投資を売却しました。この投資は、FTSEカナダ91日Tビル+4%のリターンに対して評価されました。不動産ファンドに含まれる資産は、カナダ、米国および全世界の商業用不動産です。これらの投資は、投資不動産データバンクの利回りと比較して評価されます。インフラストラクチャーファンドには、分散されたインフラストラクチャー投資の6つのポートフォリオが含まれています。これらの投資は、消費者物価指数 (CPI) プラス4.5%に照らして測定される。

5.財務リスクと公正価値

a) 公正価値の確立

売掛金、助成金、著者支払金および賞金、買掛金および未払金の帳簿価額は、短期間のため、公正価額に近似しています。投資の公正価値は以下のように決定しています。

- カナダ株式、全世界株式、債券およびマネー・マーケット・プールド・ファンド投資は、プールド・ファンドの外部管理者から提供されたユニット価値で評価され、これは、市場終値を用いて決定された公正価値の原資産に対する当評議会の比例持分を表しています。
- 当年度に売却したオルタナティブ・プールド・ファンド投資は、外部のプールド・ファンドマネージャーから供給されるユニット・バリューで評価されました。ファンドマネージャーは、ファンド内で異なる戦略をとる複数のファンドを管理しており、主に観察不能なインプットを持つ評価モデルを用いてユニットの公正価値を決定しており、小規模なものについては、入手可能な場合には市場価格を用いて決定されました。
- 動産およびインフラストラクチャーの投資価値は、観察不能なインプットを使用した評価モデルに基づき、3月31日現在で内部的に決定された評価額を用いて外部のファンドマネージャーから提供されています。

3月31日現在、当評議会の金融商品の測定区分、帳簿価額及び公正価値は以下のとおりです。

(単位：千カナダドル)		2022	2021
金融資産または金融負債	測定区分	帳簿価額および公正価値(\$)	帳簿価額および公正価値(\$)
現金・預金および現金同等物	公正価値	124,935	81,065
売掛金	償却費	10,758	2,925
ポートフォリオ投資	公正価値	495,012	479,820
助成金、著者支払金および賞金支払額	償却費	164,831	119,590
買掛金および未払金	償却費	9,145	5,565

P60

財務諸表に関する注記事項(続き)

2022年3月31日

b) 公正価値ヒエラルキー

金融商品は、公正価値が観察可能である度合いに基づいて以下のレベル1から3に分類しています。

- レベル1の公正価値測定は、活発な市場における同一の資産または負債の相場価格(調整前)から算出されるものです。
- レベル2の公正価値測定は、レベル1に含まれる相場価格以外のインプットで、当該資産・負債について直接(すなわち価格として)、または間接(すなわち価格から派生)に観察可能なものから導出されます。
- レベル3の公正価値測定は、観察可能な市場データに基づかないインプット(観察不能なインプット)を含む評価技法から導出されるものです。
- 公正価値ヒエラルキーでは、観察可能な市場インプットが存在する場合には、そのインプットを使用することを要求しています。金融商品は、公正価値の測定に重要なインプットを考慮した上で、ヒエラルキーの最も低いレベルに分類されます。

以下の表は、財政状態計算書において公正価値で計上されている金融商品を、上記の公正価値ヒエラルキーに基づいて分類したものです。

3月31日現在、公正価値で測定される金融資産

(単位：千カナダドル)		2022				2021			
		レベル1	レベル2	レベル3	合計	レベル1	レベル2	レベル3	合計
カナダ カウ ンシル 寄付金 および 特別基金	現金・預金および現金同等物	\$124,935			\$124,935	\$81,065			\$81,065
	ポートフォリオ投資								
	プールド・ファンド								
	カナダ株式		74,564		74,564		56,904		56,904
	グローバル株式		213,571		213,571		182,055		182,055
	債券		69,865	15,663	85,528		74,322	13,201	87,523
	代替							33,986	33,986
	不動産			8,709	8,709			8,640	8,640
	インフラ			28,539	28,539			26,943	26,943
	現金・預金および現金同等物					937			937
キラム 基金	プールされたファンド								
	カナダ株式		15,145		15,145		11,205		11,205
	グローバル株式		44,908		44,908		38,183		38,183
	債券		13,647	3,606	17,253		14,495	3,300	17,795
	代替							8,720	8,720
	不動産			2,234	2,234			2,213	2,213
	インフラ			4,561	4,561			4,716	4,716
		431,700	63,312	495,012	937	377,164	101,719	479,820	
合計	\$124,935	\$431,700	\$63,312	\$619,947	\$82,002	\$377,164	\$101,719	\$560,885	

(1) 上表の2021年3月31日時点の債券プールド・ファンド投資について、レベル3として開示していた金額は、当年度の分類に合わせるためにレベル2から再分類しています。その他、レベル間の金額の移動はありませんでした。

財務諸表に関する注記事項(続き)

2022年3月31日

以下の表は、レベル3に分類される金融商品の年度中の公正価値の変動を調整したものです。

(単位: 千カナダドル)		2022					2021				
		債券 ファンド	オルタナティ ブファンド	不動産 ファンド	インフラス トラクチャー ファンド	合計	債券 ファンド	オルタナティ ブファンド	不動産 ファンド	インフラス トラクチャー ファンド	合計
および カナダ カウン シル 寄付金	期首残高	\$13,201	\$33,986	\$8,640	\$26,943	\$82,770	\$12,509	\$29,259	\$9,802	\$29,958	\$81,528
	利益(損失)合計										
	再測定明細に計上	(591)	(12,286)	508	745	(11,624)	258	4,348	(974)	(2,011)	1,621
	外部制約付拠出金に計上	(52)	(1,070)	44	64	(1,014)	22	379	(85)	(175)	141
	購入	3,105	—	—	2,227	5,332	412	—	—	1,902	2,314
	売上高	—	(20,630)	(483)	(1,440)	(22,553)	—	—	(103)	(2,731)	(2,834)
	期末残高	15,663	—	8,709	28,539	52,911	13,201	33,986	8,640	26,943	82,770
キ ラ ム 基 金	期首残高	\$3,300	\$8,720	\$2,213	\$4,716	\$18,949	\$3,128	\$7,507	\$2,530	\$5,752	\$18,917
	利益(損失)合計										
	外部制約付拠出金に計上	(148)	(3,422)	142	(158)	(3,586)	69	1,213	(291)	(637)	354
	購入	454	—	—	291	745	103	—	—	247	350
	売上高	—	(5,298)	(121)	(288)	(5,707)	—	—	(26)	(646)	(672)
		期末残高									

(1) 上記の開示のとおり、一部の債券プールド・ファンド投資をレベル3に再分類したことともない、比較表に債券ファンドの項目を追加し、2021年度の合計を変更しました。

レベル3感度分析

レベル3に分類される金融商品の公正価値を測定する過程で、使用される評価技法には観察不能なインプットに基づく仮定が組み込まれています。これらの評価で使用される前提条件は入手不可能であるため、レベル3の金融商品の公正価値測定の見積りにおいて、合理的に可能な代替的前提条件の感度分析を行うことはできません。

c) リスク管理

CCAはその業務活動の結果として、様々な財務リスクにさらされており、これには、信用リスク、流動性リスク、市場リスク(価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク)が含まれます。

リスクを管理するために、CCAはプロの投資マネージャーによって管理される分散されたポートフォリオに投資しています。CCAによる投資は、理事会によって承認され、毎年見直される「投資方針と目標に関する声明」に則っています。投資分野と投資対象資産クラスの両方で経験を積んだ独立した専門家を含む投資委員会によって、ポートフォリオの監督と管理が支援されています。さらに、CCAは独立した投資コンサルタントのサービスを利用し、投資委員会の業務を支援しています。投資委員会は、投資市場の変化に応じて、ポートフォリオ全体のリスクを許容範囲内に抑えるために、資産構成の調整を推奨しています。

i. 信用リスク

信用リスクとは、取引先が契約上の義務を履行せず、その結果、CCAに財務上の損失をもたらすリスクを指します。

財政状態計算書日現在、信用リスクにさらされる金融資産には、ポートフォリオ投資および売掛金が含まれます。これらの金融資産の帳簿価額は、財政状態計算書日現在における最大の信用リスク・エクスポージャーを表しています。

株式、債券、および2つの不動産ファンドと6つのインフラストラクチャーファンドのリミテッド・パートナーシップ・ユニットへの投資(2021年3月31日-オルタナティブ・プールド・ファンドも含む)を通じて、間接的にこれらのファンドの原資産投資の信用リスクにさらされています。これらのリスクは、投資マネージャーレベルで管理されています。その目的は、信用度の高い取引先の質の高い金融商品に投資することであり取引先への投資額を制限し、CCAの投資方針で定められたその他の制限を適用することにより、そのリスクを管理しています。

また、売掛金の信用リスクは、残高のモニタリングにより軽減されています。2022年3月31日現在、重要な支払期日経過額はなく、減損損失は認識されていません。

ii. 流動性リスク

流動性リスクとは、CCAがその財政的義務を期日通りに果たすことができなくなるリスクです。

CCAは、その収入のほとんどをカナダ政府からの議会予算によって得ています。その収入は、必要となるまでの間、金融機関の優遇金利口座に一時的に投資されています。

適時支払保証の履行が直ちに必要となった場合の流動性源としては、当座貸越枠、現金および市場性のある有価証券への短期投資などがあります。

流動性の管理に関するCCAの目的は、短期プールド・ファンドの資本価値を維持し、投資の流動性を十分に確保し、投資収益を可能な限り現金で分配することである。

金融機関の優先金利口座またはポートフォリオ投資から得られる流動性により、CCAはその義務やコミットメントを果たすことができます。公正価値ヒエラルキーのレベル1および2に分類されるポートフォリオ投資は、最長で3日以内に償還が可能です。また、許可された投資と禁止された投資は、理事会が承認した短期および長期の投資方針によって管理され、流動性リスクを最小限に抑えることができます。

P62

財務諸表に関する注記事項(続き)

2022年3月31日

CCAは投資方針を定めており、9月30日現在の残高をもとに、基金と特別基金、キラム基金については過去3年間の平均市場価値の3.5%を上限として、投資ポートフォリオから毎年金額を引き出すことができます(2021年-3.5%)。

以下の表は、3月31日現在のCCAの金融負債について、過去のデータに基づく満期分析を示しています

(単位: 千カナダドル)		1年未満	1年~2年	2年以上	2022年合計
金融負債	助成金、著者支払金および賞金支払額	\$ 140,673	\$ 23,729	\$ 429	\$ 164,831
	買掛金および未払金	8,471	674	—	9,145
		\$ 149,144	\$ 24,403	\$ 429	\$ 173,976

iii. 市場リスク

CCAの活動は、主に価格変動リスク、金利変動リスク、通貨変動リスクにさらされています。

CCAの投資マネージャーへの指示は、CCAの方針に従って、CCAの市場リスクを日常的に管理することです。CCAの全体的な市場ポジションは、取締役会と投資委員会によって四半期ごとに監視されています。

市場リスクの測定

以下は、市場価格の8.2%の上昇または下降に対するCCAのポートフォリオ投資の感度の詳細です。この感度は、社内で主要な経営者に市場リスクを報告する際に使用され、市場価格の変動により投資または投資のポートフォリオの価値が合理的に変化する可能性について、経営者が評価したものです。

感度は、投資顧問会社が決定したファンドの総リターンに対する4年間の過去標準偏差を用いて決定されます。

2022年3月31日現在、他のすべての変数を一定とした場合の市場価格の変動が8.2%(2021年-7.9%)となった場合、ポートフォリオ投資の公正価値の増減により、再測定損益及び繰延収益-外部制約付拠出金が4,059万1千ドル(2021年-3,783万2千ドル)変動することになります。

年金給付はインフレに連動しています。

価格リスク

価格リスクとは、金融商品の公正価値または将来のキャッシュフローが、市場価格の変動（金利リスクまたは通貨リスクから生じるものを除く）により変動するリスクをいい、その変動が個々の金融商品またはその発行者に特有の要因によるものであるか、市場で取引される類似の金融商品に影響を及ぼす要因によるものであるかを問いません。

CCAは、株式プールド・ファンドのユニット、並びに2つの不動産ファンド及び6つのインフラ・ファンドのリミテッド・パートナーシップ・ユニットへの投資から生じる市場価格リスクに晒されています(2021年3月31日-オルタナティブ・プールド・ファンドも含む)。

金利リスク

金利リスクとは、市場金利の変動により、金融商品の公正価値または将来キャッシュフローが変動するリスクです。

CCAの金利リスクは、有利子資産に起因するものです。CCAの現金には、市場金利および優遇金利で利息を得ることができる金融機関への預金額が含まれています。CCAの目的は、日々の業務に必要な最低限の流動性を維持しながら、余剰資金から得られる利息収入を最大化することで、現金の金利リスクへのエクスポージャーを管理することです。現金の市場金利の変動は、業績に大きな影響を与えることはありません。

債券プールド・ファンド(2021年3月31日-オルタナティブ・プールド・ファンドも含む)への投資は、市場金利の変動によりその公正価値の変動に間接的に影響されます。CCAはプールド・ファンドのユニットを保有しており、原資産ではないため、変動の影響を評価することはできません。

通貨リスク

通貨リスクとは、外国為替相場の変動により、金融商品の公正価値または将来のキャッシュフローが変動するリスクです。CCAは、外貨建ての収益および費用について、限定的な為替リスクにさらされています。これらの取引の大半は、米ドルおよびユーロ建てです。

財政状態計算書日現在、投資ポートフォリオの非カナダドル建て部分は2,641万6千ドル(2021年-2,521万9千ドル)です。CCAの金融資産総額6億3,070万5千ドル(2021年-5億6,381万ドル)と比較すると、為替リスクは重要でないと考えられます。

6. 従業員将来給付金

a) 年金給付

CCAのほぼすべての職員は、カナダ政府が出資し、法律によって設立された拠出型の確定給付制度である公務員年金制度(以下「制度」)に加入しており、拠出金は、従業員とCCAの双方から拠出されます。カナダ財務局長は、従業員の必要拠出額の倍数に基づいて、必要な雇用者拠出率を設定します。必要な雇用主拠出負担率は、従業員の雇用開始日により異なります。2013年1月1日以前の雇用開始日の場合、年末に有効なCCAの拠出率は、従業員の拠出金の1.02倍(2021年-1.01)、2012年12月31日以降の雇用開始日の場合、年末に有効なカウンシルの拠出率は、従業員の拠出金の1.00倍(2021年-1.00)です。

カナダ政府は、本制度に関連する給付の支払について法的義務を負っています。年金給付は通常、最長で35年まで、年金支給可能期間の2%に直近5年間の平均所得を乗じた年率で発生します。年金給付はインフレに連動しています。

(単位：千カナダドル)	2022	2021
雇用者負担金	\$ 2,399	\$ 2,436
従業員負担金	2,439	2,384

P61

財務諸表に関する注記事項(続き)

2022年3月31日

b) 解雇手当

CCAは、従業員に対し、勤続年数と最終給与に基づいた退職給付を支給していましたが、これらの給付は事前に資金を調達していなかったため、資産がなく、結果として、未払給付債務と同額の制度赤字となりました。2011年以降、これらの給付は停止となりました。従業員は、解雇手当を現金化するか、退社まで待つかの選択肢が与えられました。債務は、従業員の実際の給与水準を反映するように年末に調整されています。

3月31日現在で測定された制度給付に関する情報は以下のとおりです。

(単位：千カナダドル)	2022	2021
未払給付債務(期首)	\$ 460	\$ 255
当期勤務費用	5	293
年度中に支払われた給付金	(331)	(88)
未払給付債務(期末)	\$ 134	\$ 460

c) 退職者給付

CCAは、特定の従業員グループを対象とした確定給付型の退職後給付制度を設けています。これらの制度では、退職した従業員の延長健康保険と歯科保険料を負担しています。退職者は延長医療保険料の50%、歯科医療保険料の100%を負担しています。独立したアクチュアリーにより、毎年3月31日現在の会計上の未払給付債務が測定されます。2022年3月31日時点の債務は、2022年3月31日現在の会員データに基づく完全な数値的価値を用いて決定されています(2021年3月31日現在の債務は、2019年12月31日現在の会員データに基づく評価結果の外挿により決定されています)。

(単位：千カナダドル)	2022	2021
正味未払給付債務(期首)	\$ 6,089	\$ 6,353
当期勤務費用	308	382
金利コスト	113	81
支払い済み給付金	(107)	(108)
数理計算上の利益	(1,370)	(619)
	5,033	6,089
未償却の数理計算上の純(利益)損失	184	(1,394)
正味未払給付債務(期末)	\$ 5,217	\$ 4,695

経験および前提条件の変化から生じる数理計算上の純利益損失は、その発生時の従業員グループの平均残存勤務期間である13年で償却されます。

未払給付債務および純給付費用の見積りに用いられた重要な年金数理前提条件は次のとおりです。

(単位：千カナダドル)	2022	2021
純給付費用算出のための割引率	1.9%	1.3%
未払給付債務算出のための割引率	2.4%	1.9%
一次医療費動向率の上昇 - 処方箋薬	5.6%	5.7%
最終医療費動向率	4.0%	4.0%
最終損益分岐点到達年	2040	2040

7. 繰延収益-外部制約付拠出金

外部制約付拠出金による繰延収益は、実現および未実現の累積収益からなり、寄付金が指定された目的に使用されるまで繰り延べられています。制約付基金の元本である3,756万9千ドルはそのまま維持することが要求されており、営業費用からの累積剰余金に計上されています(注11参照)。

(単位：千カナダドル)	2022	2021
期首残高	\$ 71,273	\$ 50,253
投資収益からの振替(注12)		
純投資収益	12,127	9,607
基金の使途	(2,050)	(1,902)
	10,077	7,705
ポートフォリオ投資の未実現(損失)利益	(123)	23,023
損益計算書への組替 - ポートフォリオ投資	(5,410)	(9,708)
期末残高	\$ 75,817	\$ 71,273

ポートフォリオ投資に関する未実現損益は、それらの資産の前年度からの公正価値の変動に関連しています。

P64

財務諸表に関する注記事項(続き)

2022年3月31日

8.有形固定資産

(単位：千カナダドル)		コンピューターソフトウェア	コンピュータ機器	オフィス機器	リース資産の改良費	仕掛品	合計
費用	2021年4月1日時点の期首残高(修正後-注3)	\$ 4,525	\$ 4,419	\$ 1,631	\$ 7,752	\$ 414	\$ 18,741
	取得額	3	307	57	—	517	884
	仕掛品からの振替	452	—	—	—	(452)	—
	評価損および除却損	(50)	(1,737)	—	—	—	(1,787)
	2022年3月31日時点の期末残高	\$ 4,930	\$ 2,989	\$ 1,688	\$ 7,752	\$ 479	\$ 17,838
償却累計額	2021年4月1日時点の期首残高(修正後-注3)	\$ 2,147	\$ 3,465	\$ 1,171	\$ 3,536	\$ -	\$ 10,319
	償却費	618	513	73	330	—	1,534
	評価損および除却損	(50)	(1,703)	—	—	—	(1,753)
	2022年3月31日時点の期末残高	\$ 2,715	\$ 2,275	\$ 1,244	\$ 3,866	\$ -	\$ 10,100
	2021年3月31日時点の純簿価(修正後-注3)	\$ 2,378	\$ 954	\$ 460	\$ 4,216	\$ 414	\$ 8,422
2022年3月31日時点の純簿価	\$ 2,215	\$ 714	\$ 444	\$ 3,886	\$ 479	\$ 7,738	

9.アートバンク資産

(単位：千カナダドル)	2022	2021
期首残高	\$ 19,466	\$ 19,465
取得額	37	1
売却・寄付	(140)	—
期末残高	\$ 19,363	\$ 19,466

カナダカウンシルアートバンクは、カナダの現代美術を集めた世界最大のコレクションを有しており、3,176人(2021年-3,168人)のアーティストによる17,163点(2021年-17,169点)の絵画、彫刻、デッサン、写真、版画を所有しています。アートバンクは、その資産を利害関係者にレンタルしており、2022年3月31日現在、連邦政府の省庁、協会、病院、学校、自治体、民間企業に3,749点(2021年-3,686点)の作品をレンタルしています。

CCAは、アートバンク資産の公正価値を決定するために、独立した鑑定士の協力を得ています。アートバンク資産の完全な独立評価は2001年に完了し、2010年に評価の大幅な更新が行われました。個々の美術品については、特別な評価、美術品の種類、作家の死去など、評価額を変更することが知られている重要な事象を経営陣が特定した場合に、別途独立した鑑定を行うことがあります。アートバンク資産の評価額合計は、2022年3月31日現在、7,283万1千ドル(2021年-7,324万2千ドル)と推定されています。

これらの資産の残存価値は、寄贈時の購入費用または独立した鑑定に加え、額装、取り付け、輸送にかかる費用を上回ると推定されるため、償却は認識されません。

アートバンクは、そのリスク評価に基づいて資産に保険を掛けています。

10. 楽器

CCAでは、1985年にミュージカル・インストルメンタル・バンクを設立し、現在、チェロの名弓をはじめ、9つの高級楽器を所有しています。このほか、匿名希望者から9台、別の5名の匿名希望者から6台、合計15台の貸出楽器を管理しています。

貸与される楽器は、個人との間で契約書が交わされます。この契約には、楽器の取り扱いに関する条項があり、楽器の保護に努めています。2022年3月31日現在の楽器バンクの評価額は、4,620万8千ドルを2022年3月31日の米国為替レート1.25で換算した5,771万6千ドル(2021年-5,864万2千ドル、4,665万8千ドルを2021年3月31日の米国為替レート1.26で換算)である。

CCAは、楽器を米ドル建ての評価額にて保険に加入しています。

P65

財務諸表に関する注記事項(続き)

2022年3月31日

11. 累積剰余金

(単位：千カナダドル)	2022年		修正後(注3) 2021年	
営業利益からの累積剰余金		\$ 50,000		\$50,000
寄付金- 原資				
基金元本-外部制約付拠出金		37,569		37,569
超過投資収益準備金				
期首残高	229,445		203,445	
当期中の累積剰余金からの充当	24,000		26,000	
期末残高		253,445		229,445
営業活動による累積剰余金				
期首残高	21,578		30,022	
当期中の超過投資収益準備金への充当	(24,000)		(26,000)	
剰余金	26,785		17,556	
期末残高		24,363		21,578
営業活動による合計累積剰余金		365,377		338,592
累積再測定利益(損失)				
期首残高	45,792		(32)	
公正価値の変動	(14,198)		45,824	
期末残高		31,594		45,792
累積剰余金期末残高		\$ 396,971		\$384,384

累積剰余金には、1957年のCCA設立時にカナダ政府から拠出された5,000万ドル(「寄付金基金」)が含まれています。

12. 正味実現投資収益

(単位：千カナダドル)	2022	2021
ポートフォリオ投資の売却益	\$ 22,083	\$ 18,332
「繰延収益-外部制約付拠出金に振り替えられた収益（注7）」	(10,077)	(7,705)
為替純（損益）差益	(29)	160
配当金およびその他の分配収益-再投資	19,177	11,559
利息・配当金およびその他の分配収益-現金化	8,891	9,828
投資ポートフォリオ管理費用	(1,841)	(1,390)
	\$ 38,204	\$ 30,784

13. ネットアートバンクの実績

(単位：千カナダドル)	2022	2021
レンタル収入	\$ (1,575)	\$ (1,574)
その他の収入	(152)	(107)
管理費	1,811	1,708
	\$ 84	\$ 27

14. カナダユネスコ委員会

(単位：千カナダドル)	2022	2021
プログラム費用	\$ 1,201	\$ 1,714
プログラム-寄付金受領	(405)	(235)
管理費	1,391	1,480
	\$ 2,700	\$ 2,446

プログラム費用は、主に教育、科学、文化に関連する国内および国際会議での委員会の活動に関連する費用です。これらの費用は、場合によっては、これらの活動において当委員会と提携している他の組織から受け取った寄付金によって相殺されます。管理費は、委員会のプログラムを実施するための直接経費を表しています。

15. その他の非現金項目の純増減

(単位：千カナダドル)	2022	2021
売掛金の（増加）減少額	\$ (7,833)	\$ 422
助成金、著者支払金および賞金支払額の増加額	45,241	61,520
買掛金および未払金の増加	3,764	444
繰延収益の減少	(338)	(98)
純増減	\$ 40,834	\$ 62,288

P66

16. 契約上の義務およびコミットメント

a) 助成金、著者支払金および賞金支払額

将来にわたる助成金、著者への支払いおよび賞金は、議会による資金提供を条件としています。2022年3月31日以前に承認されたものの将来支払確約額は、2億2,674万ドル(2021年-3億4,203万8千ドル)です。2022年3月31日現在の助成金コミットメントの将来の支払額は、以下のとおりです。

(単位：千カナダドル)	
2023	\$ 147,850
2024	73,144
2025	3,858
2026	988
2027	600
2028	300

助成金、著者への支払い及び賞金に関する将来支払確約額には、関連当事者との取引合計1,048万ドル(2021年-962万9千ドル)が含まれています。

b) 賃料

CCAは、賃貸住宅に関して長期オペレーティング・リースの当事者となっています。2022年3月31日現在のオペレーティング・リースに関する将来支払額は、6,111万6千ドル(2021年-5,692万6千ドル)です。2022年3月31日現在のオペレーティング・リースの将来支払額は、以下のとおりです。

(単位：千カナダドル)	
2023	\$ 4,504
2024	4,444
2025	4,450
2026	4,631
2027	4,825
2028 - 2034 年	38,262

c) 投資コミットメント

CCAは、リミテッド・パートナーシップ・ファンドを通じて、債権、不動産及びインフラ投資マネージャーと資金の活用を約束しています。これらの資金が完全に投資されるまでに時間がかかるため、2022年3月31日現在、まだ引き出されていない出資約束金の残高は4,104万7千ドル(2021年-746万1千ドル)です。これらの確約額は、主にカナダおよび世界の株式に投資している資産を売却することにより支払われる予定です。

d) その他のコミットメント

CCAは、将来における支払を約束する様々な契約を当期中に締結しました。2022年3月31日現在、これらの契約に関連する将来支払額は812万3千ドル(2021年-956万4千ドル)です。2022年3月31日現在の将来の年間支払額は、以下のとおりです。

(単位：千カナダドル)	1年未満	7年未満	合計
有形固定資産	\$ 2,644	—	\$ 1,393
一般管理費	2,644	2,754	5,398
アート・コミュニティ・サービス	607	310	917
プログラム提供	174	20	194
カナダユネスコ委員会 (CCUNESCO)	219	—	219
ネットアートバンクの実績	2	—	2

将来におけるその他のコミットメントには、関連するパートナーとの取引総額 682,000ドル(2021年-873,000ドル)、一般管理部門の382,000ドル、アート・コミュニティ・サービス部門の300,000ドルが含まれています。年3月31日現在の将来の年間支払額は、以下のとおりです。

17.COVID-19の大流行の影響

COVID-19の大流行により、世界各地で公共空間の閉鎖やイベントの中止が発生し、芸術セクターに大きなストレスがかかっています。

CCAは、COVID-19に関連するイベントのために優先順位と運営を調整しながら、プログラムの提供レベルを維持しました。CCAは、カナダ政府および州、準州、自治体のパートナーと協力し、このセクターの結束を守るためにも引き続き取り組んでいます。

2021-22年、カナダ政府からCOVID-19緊急支援基金を通じて1億4,600万ドル(2021年-6,280万ドル)を受け取り、以下の取り組みを通じて分配されました。

COVID-19対策による芸術・ライブイベント従事者支援のための資金について

2020年11月30日に発表された「2020年秋の経済声明」で、財務大臣はCOVID-19に対応したイベントや芸術(ライブとデジタル両方を含む)の企画・発表を支援し、これらの分野での労働機会を提供すると発表しました。当評議会は、2021-22年に総額1億2,100万ドルを受領しました。これは資金提供プログラムを拡大するためのイニシアチブに使われます。また、芸術グループ、集団、団体がバーチャルで観客と共有できる作品を改作・創作することを目的とし、新しいデジタル・イノベーション・イニシアチブ「Digital Now」から5,050万ドルを投資しました。また「探求し創造する」助成プログラムを通じて、新しい作品の研究、創造、制作を促進するために7,050万ドルが投資されました。

COVID-19対応のための芸術・文化・遺産・スポーツセクター復興基金および再開基金

2021年6月28日、政府は総額5億ドルの「芸術・文化・遺産・スポーツセクター復興基金」および「再開基金」の一環として、当協議会に7,500万ドルを追加で支給することを発表しました。

2021-22年には再開基金を通じて2,500万ドルを受け取り、コアファンドの助成対象者が既存の観客の再参加と新しい観客の取り込みを目指す活動に投資することができました。

また、2022-23年には、復興基金を通じて5千万ドルを受領しました。そのうち2千万ドルは作品の研究、創造、制作のために、500万ドルは国内のツアー活動と市場開発のために、2,500万ドルは芸術セクターの革新に投資されました。

2022年連邦予算

2022年予算において、カナダ政府は、公衆衛生上の制限やキャパシティの問題によりカナダの芸術・文化・遺産団体の収入が減少したことを受け、2022-23年にカナダ文化遺産省、カナダ芸術評議会、テレフィルム・カナダ(Telefilm Canada)に5,000万ドルを拠出することを約束しました。このうち、当評議会は2022-23年に920万ドルを獲得し、既存のコアグラントの追加分として支出する予定である。

P67

財務諸表に関する注記事項(続き)

2022年3月31日

18. 関連当事者取引

CCAは、カナダ政府のすべての省庁、政府機関、王立企業と共通の所有権を持つという点で関連があります。その他の関連当事者には、主要経営幹部、主要経営幹部の近親者、主要経営幹部またはその近親者によって支配され、著しい影響を受け、または重要な議決権を保有する事業体が含まれます。CCAは通常の事業の過程で、すべての個人および企業に適用される通常の取引条件で関連当事者と取引を行っており、これらの取引は関連当事者が設定し合意した対価の額である交換額で測定されています。

当該年度、CCAは関連当事者との間で、総額1,035万2千ドル(2021年-760万1千ドル)の費用を発生させ、アートバンク資産の賃貸収入、寄付金及びその他の収入を総額245万9千ドル(2021年-276万4千ドル)計上しました。

また、監査役室から無償で監査サービスを受けています。これらのサービスの見積もり費用は、40万ドルです(2021年:54万5千ドル)。

3月31日現在、CCAは関連当事者との取引について、以下の金額を財政状態計算書に計上しています。

(単位：千カナダドル)	2022	2021
売掛金	\$ 5,840	\$ 654
助成金、著者支払金および賞金支払額	1,833	852
買掛金および未払金	1,050	686
繰延収益	457	437

19. 後発事象

2022年4月6日、当評議会の投資委員会は、一部の債券プールド・ファンドを売却する計画を承認しました。現在の市場及び経済状況、特に金利上昇環境とこれらの債券プールド・ファンドの原投資の性質を考慮すると、当評議会はファンドの市場価値がさらに下落し、将来の売却に伴う損失が発生することを予想しています。

2022年3月31日現在、これらのファンドに関連する再測定損益計算書に認識されている未実現損失は648万ドルです。2022年5月31日現在、これらのファンドに関連する未実現損失は797万ドルです。最終的な売却日の状況に関して不確実性があるため、この売却取引による財務的影響を見積もることは不可能であり、2022年3月31日現在、減損損失を計上することはできませんでした。

財務諸表に関する注記事項(続き)

2022年3月31日

付表 I - 助成金、著者支払金および賞金支払額

(単位：千カナダドル)	2022	2021
アート助成プログラム		
「探求し創造する」	\$ 96,632	\$ 105,248
「関与し持続させる」	82,054	80,580
「芸術活動の支援」	40,452	37,787
「芸術をカナダ中に」	26,343	20,596
「芸術を海外に」	7,651	6,184
「創造し知り共有する：ファーストネーション・イヌイト・メティスの文化芸術」	25,312	15,625
「デジタル戦略ファンド」	553	46,388
「Digital Now」(1)	27,204	—
「戦略的イノベーション基金」	2,337	—
「戦略的投資」	3,472	2,884
「芸術およびライブイベント従事者のための COVID-19 支援金」(2)	120,500	—
「イベントおよび対面型体験の再開のための COVID-19 支援金」(3)	25,000	
COVID-19 緊急支援基金		62,800
賞金	1,335	314
公貸権プログラム	15,033	14,807
キラムプログラム		
キラム・リサーチ・フェロウシップ		420
	500	500
その他の賞・表彰		
モルソン賞	100	100
\$100,000 以下のその他の賞・表彰		
	\$ 474,831	\$ 394,587

- (1) 当評議会は、「Digital Now」イニシアチブに2,720ドルを直接拠出しました。「芸術およびライブイベント従事者のための COVID-19 支援金」から拠出された5千ドルを含めると、このイニシアチブへの投資総額は7,720万ドルとなります。
- (2) 「芸術およびライブイベント従事者のための COVID-19 支援金」のイニシアチブのために受領した1億2,050万ドルは、「探求し創造する」(7,050万ドル)および「Digital Now」(5,000万ドル)を通じて分配されました。
- (3) 「イベントおよび対面型体験の再開のための COVID-19 支援金」として受け取った2,500万ドルは、様々なプログラムを通じてコアファンディング団体に分配されました。

P69

付表 II - その他の費用

	2022			修正後 2021
	振替プログラムの提供	一般管理費	合計	合計
給与、従業員福利厚生	\$ 18,915	\$ 11,703	\$ 30,618	\$ 30,418
ピアおよびアドバイザー委員会	2,343	—	2,343	1,523
その他宿泊費	44	3,746	3,790	3,835
専門サービスおよび特別サービス	708	6,794	7,502	6,159
償却費	609	925	1,534	1,530
情報管理費	73	1,644	1,717	1,431
スタッフの旅費	17	8	25	12
授賞式	367	—	367	332
印刷・出版・製版費用	26	244	270	236
広報	2	204	206	268
事務所費・設備費	—	25	25	125
メンバーへの謝礼を含む会議費	3	77	80	75
雑費	2	22	24	14
	\$ 23,109	\$ 25,392	\$ 48,501	\$ 45,958

付表 III - アート・コミュニティ・サービス

(単位：千カナダドル)	2022	2021
パートナーシップおよびネットワーク	\$ 2,748	\$ 1,664
研究およびコンサルティング	789	1,096
イベント費用	78	40
	\$ 3,615	\$ 2,800

独立行政法人 日本芸術文化振興会 委託事業



**カナダにおける文化芸術活動に対する
助成システム等に関する実態調査**

報告書 別冊

令和5年3月

Nomura Research Institute Singapore Pte. Ltd.